

業務報告

令和2年度

埼玉県産業技術総合センター

令和2年度業務報告目次

目次

1	埼玉県産業技術総合センター概要	5
1.1	沿革	5
1.2	組織と事務分掌	6
1.3	職員	7
1.4	所在地、土地建物	8
1.5	会計	9
1.6	貸会議室等	10
1.6.1	多目的ホール、会議室の使用料等	10
1.6.2	多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数	10
1.6.3	多目的ホール、会議室の利用者別利用件数	10
1.6.4	多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数	10
1.7	試験研究設備の整備状況	11
2	技術支援	12
2.1	技術相談・技術指導	12
2.1.1	職員による技術相談・技術指導	12
2.1.2	現場改善・製品化支援事業	14
2.1.3	新技術・新製品開発のためのデザイン力強化事業	15
2.2	依頼試験	16
2.2.1	依頼試験	16
2.2.2	放射線測定依頼試験	17
2.2.3	新型コロナウイルス感染症に係る依頼試験手数料減免	17
2.3	機器開放	18
2.3.1	機器開放	18
2.3.2	機器操作技術認定研修	19
2.3.3	新型コロナウイルス感染症に係る試験研究機器使用料減免	19
2.4	AI・IoT技術支援事業	19
2.4.1	スマートものづくり支援事業	19
2.4.2	AI活用支援	19
2.4.3	地方版IoT推進ラボ	19
2.4.4	ものづくりAI・IoT化支援事業	20
2.5	ナノカーボンプロジェクト推進事業	20
2.6	新エネルギープロジェクト推進事業	20
2.7	Support×Tech（サポテック）によるものづくり環境の変革推進事業	20
2.7.1	埼玉県デジタルものづくり研究会	20
2.8	技術支援等による実用化・商品化	20
2.9	培養酵母の頒布	20
3	研究開発	21
3.1	研究開発	21
3.1.1	政策的研究課題	21
3.1.2	受託研究等	22
3.1.3	科学研究費助成事業（科研費）	22
3.2	客員研究員	23
3.3	研究成果の公表	23
3.3.1	センター主催の発表	23
3.3.2	学会等への発表(国際会議含む)	25
3.4	研究課題の評価	26

3.4.1	研究評価委員会	26
3.4.2	中間評価	26
4	研究開発支援	27
4.1	産学官連携の推進	27
4.1.1	産学官連携推進について	27
4.1.2	産学官連携関連展示会(主催事業)	27
4.1.3	産学官連携に関連する展示会	28
4.2	助成制度への取り組み	28
4.2.1	研究開発型企業支援事業	28
4.2.2	埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績	28
4.3	特許の取得推進とその活用	29
4.3.1	産業財産権の一覧	29
4.3.2	実施許諾	31
5	交流	32
5.1	異業種交流支援事業	32
5.1.1	産学官交流プラザ	32
5.1.2	さきたま利根テクノプラザ(STTEP)	32
5.2	新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)	33
5.2.1	鋳物技術委員会	33
5.2.2	埼玉県ものづくり研究会	33
5.2.3	埼玉県熱処理技術研究会	33
5.2.4	清酒製造技術研究会	33
5.2.5	埼玉ブランド食品開発研究会	34
5.3	首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表：他県を含む】	35
5.3.1	首都圏公設試連携推進会議の開催(第60回)	35
5.3.2	首都圏公設試連携推進会議(第14回TKFオープンフォーラム)の開催	35
5.3.3	研究発表者相互派遣事業	35
5.3.4	パートナー・グループ事業	35
5.3.5	TKFミニインターンシップ事業	36
5.3.6	広域首都圏輸出製品技術支援センター(略称:MTEP)	36
5.3.7	地域未来投資促進法に基づく連携支援事業	36
5.4	RINGS NET(新潟、群馬、埼玉 3県公設試連携)	37
5.4.1	担当分野別交流会等の開催	37
5.5	講演会等講師派遣	37
5.6	技術評価等派遣	39
5.7	会議等への参加	40
5.8	次世代自動車支援事業の運営支援	43
6	情報提供	44
6.1	技術普及業務	44
6.1.1	SAITEC オープンラボ	44
6.1.2	SAITEC 北部研究所研究・支援成果発表会	44
6.1.3	研究報告	44
6.2	利用促進	45
6.2.1	業務報告	45
6.2.2	インターネットによる技術情報の提供	45
6.2.3	マスメディア報道	45
7	起業化支援	46
7.1	入居企業	46
7.2	支援実績	46

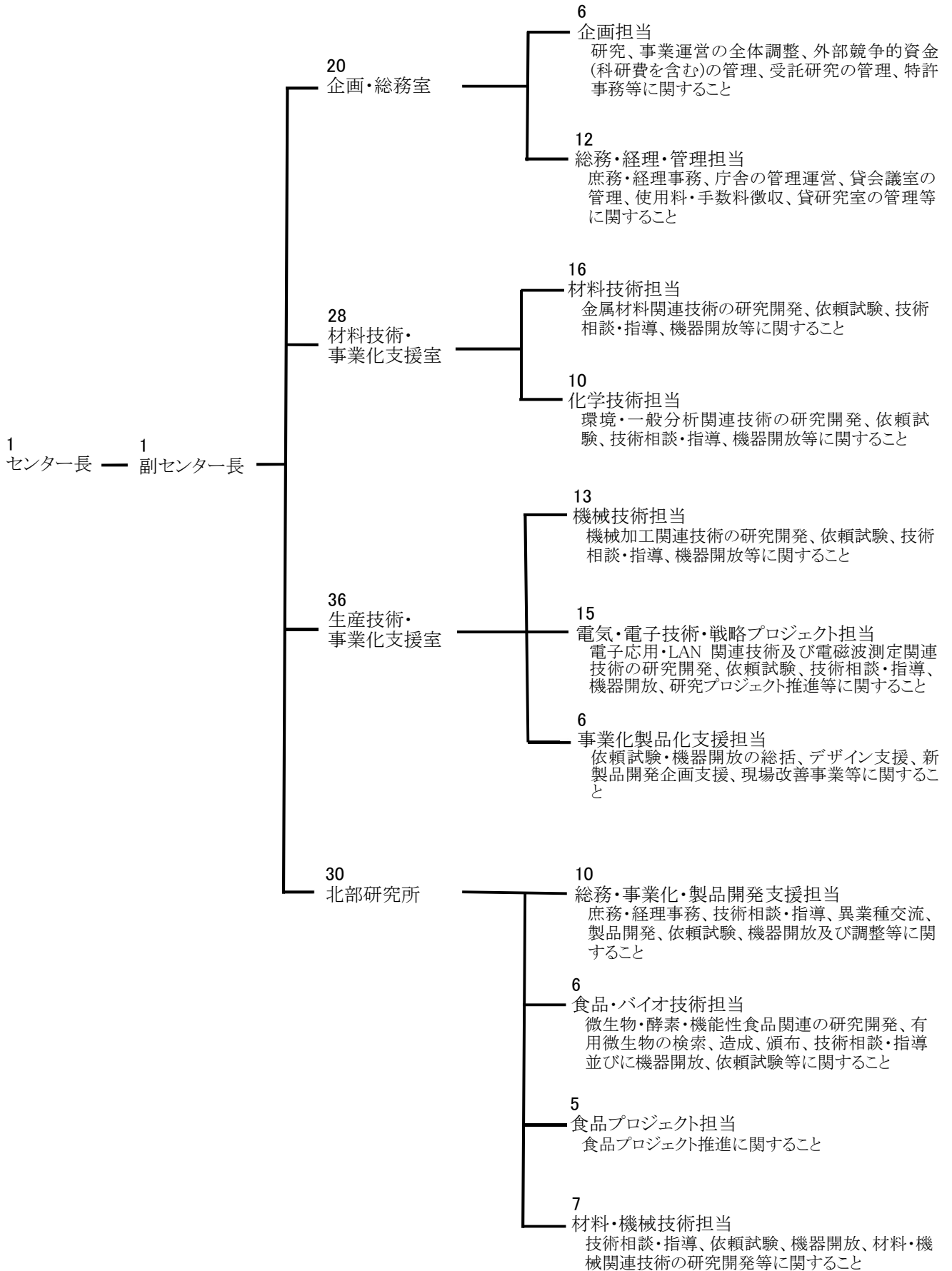
8	人材育成	47
8.1	研修生の受け入れ.....	47
8.1.1	中小企業等研究者養成研修事業.....	47
8.2	技術講習会、講演会等の開催.....	47
8.3	技術競技会.....	51
8.3.1	埼玉県鑄造技術コンクール.....	51
8.3.2	令和2酒造年度春季清酒鑑評会.....	51
8.4	科学技術体験学習の実施.....	51
8.4.1	スーパーサイエンスハイスクール事業.....	51
9	その他の事業	52
9.1	職員研修.....	52
9.2	運営委員会の開催.....	56
9.2.1	開催状況.....	56
9.2.2	運営委員.....	56

1 埼玉県産業技術総合センター概要

1.1 沿革

大正10年	埼玉県熊谷工業試験場設立、庶務部、染色部及び機織部の3部を設置
大正11年	整理部を増設し4部となる
大正12年	図案部を増設し5部となる
昭和 5年	醸造部を増設し(昭和21年に技術部に改称)6部となる 埼玉県秩父工業試験場設立、熊谷工業試験場の機織部及び図案部を移転
昭和 6年	埼玉県熊谷工業試験場浦和分場を設置し整理部を移転
昭和 8年	埼玉県川口鋳物工業試験場設立
昭和 9年	浦和分場を埼玉県染色試験場と改称し熊谷工業試験場の染色部を移転、 熊谷工業試験場は名称を埼玉県醸造試験場と改称
昭和11年	埼玉県小川製紙研究所設立
昭和12年	埼玉県仏子染織指導所設立 埼玉県秩父工業試験場を埼玉県秩父染織指導所と改称 埼玉県川口鋳物工業試験場を埼玉県川口重工業指導所と改称 埼玉県醸造試験場に染色部を再設置し(昭和18年に廃止)、埼玉県熊谷醸造指導所と改称 埼玉県小川製紙研究所を埼玉県小川製紙指導所と改称
昭和19年	埼玉県熊谷醸造指導所を埼玉県醸造指導所と改称 埼玉県秩父染織指導所を埼玉県秩父工業指導所と改称 埼玉県仏子染織指導所を埼玉県繊維工業指導所と改称 埼玉県小川製紙指導所を埼玉県製紙工業指導所と改称
昭和20年	埼玉県川口重工業指導所を埼玉県鋳物指導所と改称
昭和24年	埼玉県行田繊維工業指導所設立
昭和31年	埼玉県醸造指導所を埼玉県醸造試験場と改称 埼玉県秩父工業指導所を埼玉県秩父繊維工業試験場と改称 埼玉県繊維工業指導所を埼玉県繊維工業試験場と改称 埼玉県行田繊維工業指導所を埼玉県行田繊維工業試験場と改称 埼玉県製紙工業指導所を埼玉県製紙工業試験場と改称 埼玉県鋳物指導所を埼玉県鋳物工業試験場と改称
昭和36年	埼玉県デザインセンターを大宮市の埼玉県商工会館内に設置
昭和38年	埼玉県鋳物工業試験場を川口市本町から川口市芝に移転し、埼玉県鋳物機械工業試験場と改称
昭和42年	埼玉県工芸試験場を浦和市に設立、デザインセンターを廃止
昭和47年	醸造試験場の建設工事竣工、埼玉県食品工業試験場と改称
昭和58年	埼玉県工芸試験場を埼玉県工業技術研究所に改称 埼玉県行田繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場に、埼玉県繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場入間支場に、埼玉県秩父繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場秩父支場に改組
平成 7年	鋳物機械工業試験場において、新技術事業団(現(独)科学技術振興機構)及び科学技術庁金属材料研究所との共同研究を開始するため、新技術事業団埼玉研究室及び新技術事業団のプレハブ実験棟を設置
平成10年	5研究機関7施設を再編・統合し、埼玉県工業技術センター設立 本所(川口市・旧鋳物機械工業試験場)、南部研究所(浦和市・旧工業技術研究所)及び北部研究所(熊谷市・旧食品工業試験場)の3施設を設置
平成15年	埼玉県工業技術センターを廃止し、埼玉県産業技術総合センター設立 埼玉県産業技術総合センター(川口市)及び埼玉県産業技術総合センター 北部研究所(熊谷市・旧埼玉県工業技術センター北部研究所)の2施設を設置

1.2 組織と事務分掌



計 116 名 (R3.3.31 現在)

1.3 職員

センター長 (事)	福田 保之
副センター長(兼)企画・総務室長 (事)	前沢 幸男

◆本所

企画・総務室			
副室長 (技)	小口 正浩	副室長 (事)	追川 和夫
企画担当		担当部長 (技)	田中 英次
専門研究員 (技)	宗形 隆史	主任 (技)	鈴木 啓介
主任 (技)	大澤 直幸	主任専門員 (技)	巻島 秀男
技師	山崎 彰太		
総務・経理・管理担当		担当課長 (事)	吉川 満
担当課長 (事)	小森 芳久	主任 (事)	清水 俊子
主任 (事)	結城 智一	主任専門員 (事)	今橋 幸夫
専門員 (事)	鈴木 達	会計年度	酒井 誠
会計年度	伊藤 和靖	会計年度	武田 祐子
会計年度	石原 正子	会計年度	斉藤 留美
会計年度	橋本 章世		
材料技術・事業化支援室		室長 (技)	出口 貴久
副室長 (技)	高橋 利男		
材料技術担当		担当部長 (技)	鈴木 昌資
主任研究員 (技)	小熊 広之	主任研究員 (技)	清水 宏一
主任研究員 (技)	細野 光広	専門研究員 (技)	篠崎 誠
専門研究員 (技)	常木 裕己	専門研究員 (技)	菊池 和尚
専門研究員 (技)	森本 良一	専門研究員 (技)	鶴藺 大
主任 (技)	小野 裕也	主任 (技)	鳥羽 遼子
主任専門員 (技)	永野 正明	主任専門員 (技)	鮑津 彰
技師	上杉 卓矢	技師	周 雲帆
技師	久野 磨衣子		
化学技術担当		担当部長 (技)	佐野 勝
主任研究員 (技)	熊谷 知哉	専門研究員 (技)	灘野 朋美
専門研究員 (技)	坂本 大輔	専門研究員 (技)	常見 崇史
主任 (技)	須川 真希代	主任 (技)	伊藤 幸希
主任 (技)	稲本 将史	主任 (技)	焼田 裕之
技師	荻野 倭子		
生産技術・事業化支援室		室長 (技)	福島 泰年
副室長 (技)	宇野 彰一		
機械技術担当		担当部長 (技)	南部 洋平
専門研究員 (技)	島崎 景正	専門研究員 (技)	増子 陽一
専門研究員 (技)	鈴木 理博	専門研究員 (技)	山田 岳大
主任 (技)	蓮 俊介	主任 (技)	岩崎 翼
主任 (技)	都知木 邦裕	主任 (技)	廣島 啓太
技師	田中 拓也	技師	横山 雄哉
技師	大澤 旺欣	技師	女鹿 貴信
電気・電子技術・戦略プロジェクト担当		担当部長 (技)	能戸 崇行
主任研究員 (技)	鈴木 浩之	主任研究員 (技)	栗原 英紀
専門研究員 (技)	関根 俊彰	専門研究員 (技)	白石 知久
専門研究員 (技)	半田 隆志	専門研究員 (技)	森田 寛之
主任 (技)	香西 良彦	主任 (技)	成田 祐治
主任専門員 (技)	安藤 昌弘	技師	岡崎 祥吾
技師	天沼 晃	会計年度	沖 真理
会計年度	木島 一博	会計年度	大川 薫

事業化製品化支援担当		担当部長(技)	原田 勝利
専門研究員(技)	唐 牛 聖 文	主 任 (技)	岡 林 美由貴
技 師	小 林 達 哉	会 計 年 度	赤 坂 拓 郎
会 計 年 度	大 沼 勇 樹		

◆北部研究所

所 長 (技)	小 島 登貴子		
副 所 長 (技)	荻 野 重 人		
総務・事業化・製品開発支援担当		担当部長(事)	増 田 文 之
専門研究員(技)	矢 澤 貞 春	担当課長(事)	山 崎 守 広
主 任 (事)	本 田 正 幸	主 任 (技)	山 川 翔 平
主任専門員(技)	中 島 規 之	専 門 員 (事)	沼 上 由紀夫
専 門 員 (技)	井 上 英 之	専 門 員 (技)	高 橋 広 子
会 計 年 度	田 村 敏 行		
食品・バイオ技術担当		担当部長(技)	横 堀 正 敏
専門研究員(技)	樋 口 誠 一	専門研究員(技)	富 永 達 矢
専門研究員(技)	和 田 健太郎	主 任 (技)	大 西 健 太
技 師	齋 藤 健 太		
食品プロジェクト担当		担当部長(技)	仲 島 日出男
専門研究員(技)	原 田 雅 典	主 任 (技)	海 野 まりえ
主 任 (技)	飯 塚 真 也	主 任 (技)	成 澤 朋 之
材料・機械技術担当		担当部長(技)	奥 野 慎
専門研究員(技)	進 藤 久 宜	専門研究員(技)	秋 山 稔
専門研究員(技)	信 本 康 男	主 任 (技)	高 橋 勝
技 師	笠 原 章 裕	専 門 員 (技)	小 林 茂

(R3.3.31 現在)

1.4 所在地、土地建物

◆ 埼玉県産業技術総合センター

所在地 川口市上青木三丁目12番18号

土地 18,352.58 平方メートル

建物 埼玉県産業技術総合センター 27,287.63 平方メートル

埼玉県生活科学センター 4,420.30 平方メートル

川口市立科学館 3,784.61 平方メートル

合 計 35,492.54 平方メートル

構造 地上9階/地下1階

◆ 北部研究所

所在地 熊谷市末広二丁目133番地

土地 5,923.30 平方メートル

建物 本 館 1,687.92 平方メートル

試験棟 494.27 平方メートル

新 館 602.84 平方メートル

試験棟 312.86 平方メートル

その他 73.60 平方メートル

合 計 3,171.49 平方メートル

1.5 会計

◆歳入

(単位:円)

科 目	本 所	北部研究所	合 計
使用料及び手数料	251,159,976	20,364,214	271,524,190
使用料	192,773,596	5,322,834	198,096,430
総務使用料	93,098,085	435,874	93,533,959
商工使用料	99,675,511	4,886,960	104,562,471
手数料	58,386,380	15,041,380	73,427,760
商工手数料	58,386,380	15,041,380	73,427,760
国庫支出金	0	0	0
国庫補助金	0	0	0
商工費国庫補助金	0	0	0
財 産 収 入	19,831,515	499,200	20,330,715
財産運用収入	19,781,515	0	19,781,515
財産貸付収入	19,781,515	0	19,781,515
財産売払収入	50,000	499,200	549,200
物品売払収入	50,000	0	50,000
生産物売払収入	0	499,200	499,200
諸 収 入	20,361,020	497,306	20,858,326
受託事業収入	4,664,761	0	4,664,761
商工受託事業収入	4,664,761	0	4,664,761
雑 入	15,696,259	497,306	16,193,565
違約金及び延納利息	0	0	0
雑 入	15,696,259	497,306	16,193,565
合 計	291,352,511	21,360,720	312,713,231

※調定額

◆歳出

(単位:円)

科 目	本 所	北部研究所	合 計
総 務 費	49,048,287	156,534	49,204,821
総務管理費	2,925,423	42,134	2,967,557
一般管理費	2,872,247	0	2,872,247
人事管理費	53,176	42,134	95,310
財産管理費	0	0	0
防災費	0	114,400	114,400
消防防災費	0	114,400	114,400
県民費	46,122,864	0	46,122,864
消費者対策費	46,122,864	0	46,122,864
商 工 費	529,582,435	89,491,265	619,073,700
商工業費	529,582,435	89,491,265	619,073,700
商工総務費	32,733,984	3,664,554	36,398,538
商工振興費	21,880,061	0	21,880,061
産業技術総合センター費	474,968,390	85,826,711	560,795,101
農林水産業費	0	50,000	50,000
農 業 費	0	50,000	50,000
農業研究費	0	50,000	50,000
合 計	578,630,722	89,697,799	668,328,521

1.6 貸会議室等

1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等

(円)

階	区分		面積 (m ²)	定員 (人)	午 前	午 後	夜 間	超 過 (1時間)
	施設名							
1	多目的ホール1		199.64	130	6,460	8,620	6,460	2,140
1	多目的ホール2		273.92	170	8,880	11,800	8,880	2,950
3	3A会議室		66.46	30	2,130	2,860	2,130	700
3	3B会議室		66.46	30	2,130	2,860	2,130	700
4	4A会議室		66.46	33	2,130	2,860	2,130	700
4	4B会議室		66.46	33	2,130	2,860	2,130	700
4	4C会議室		70.92	33	2,290	3,050	2,290	760

1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数

	利用件数(件)				利用人数(人)			
	午 前	午 後	夜 間	計	午 前	午 後	夜 間	計
多目的ホール1	116	126	66	308	13,420	15,083	9,556	38,059
多目的ホール2	128	137	69	334	14,133	15,849	9,716	39,698
3A会議室	88	98	47	233	5,158	5,256	3,244	13,658
3B会議室	106	123	59	288	5,391	5,564	3,336	14,291
4A会議室	110	118	66	294	5,260	5,288	3,457	14,005
4B会議室	109	117	62	288	5,266	5,294	3,446	14,006
4C会議室	98	98	57	253	5,052	5,068	3,372	13,492
合 計	755	817	426	1,998	53,680	57,402	36,127	147,209

1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数

	県	川口市	その他 官公庁	公社 公団	入居商 工団体	他の商 工団体	民間 事業所	その他	合計
件 数	255	251	746	20	79	52	399	196	1,998
百分比(%)	12.7%	12.6%	37.3%	1.0%	4.0%	2.6%	20.0%	9.8%	100.0%

1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数

	会議	研修会	講演会	大会	展示会	その他	合計
件 数	205	244	23	4	241	1,281	1,998
百分比(%)	10.2%	12.2%	1.2%	0.2%	12.1%	64.1%	100.0%

1.7 試験研究設備の整備状況

新規購入機械器具

品名	数量	銘柄・規格等	設置場所
炭素硫黄分析装置 ※1	1	(株)堀場製作所 EMIA-Expert	本所
金属 3D プリンタ	1	Markforged 社 Metal X	本所
形状最適化システム	1	アルテアエンジニアリング(株) OptiStruct	本所
スマートグラス	1		本所
解析用 PC	1		本所
ガスクロマトグラフ質量分析装置	1	アジレント・テクノロジー(株) Agilent 5977B GC/MS におい嗅ぎシステム	北部研究所
味覚センサ	1	(株)インテリジェントセンサーテクノロジー 味認識装置 TS-5000Z	北部研究所
冷凍遠心機	1	アズワン(株) MCD-250RD	北部研究所
真空乾燥器	1	アズワン(株) AVO-250SB-D、UT-1AS	北部研究所
冷蔵ショーケース	1	PHC(株) MPR-S300H	北部研究所
3Dプリンター	1	Raise3D E2	北部研究所

※1 公益財団法人 JKA の「公設試験研究所設備拡充補助事業」による

2 技術支援

中小企業の技術支援のため、技術相談・技術指導、企業からの依頼に応じた依頼試験、試験研究機器の開放等を行うとともに、スマートものづくり基盤の構築を支援した。

2.1 技術相談・技術指導

中小企業の生産活動における技術的課題の解決、新製品や新商品の開発等を支援するため、当センター職員による相談・指導及び外部の技術専門家等による技術相談・指導を実施した。

2.1.1 職員による技術相談・技術指導

◆本所

分類	項目	相談件数
機械関連	切削に関すること	221
	特殊加工に関すること	494
	設計に関すること	17
	精密測定に関すること	2,714
鋳物関連	鉄鋳物に関すること	40
	非鉄鋳物に関すること	9
	鋳型・鋳造方案に関すること	3
	鋳物不良対策に関すること	4
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	140
	腐食、防食に関すること	199
	熱処理に関すること	85
	塗装技術に関すること	24
材料試験・組織等	成分分析(金属)に関すること	726
	成分分析(非金属)に関すること	1,288
	材料強度等に関すること	767
	材料の物性、工業規格に関すること	346
	顕微鏡組織観察等に関すること	556
	材料のクレーム対策に関すること	59
	非破壊検査に関すること	459
電気・電子・制御関連	自動化、省力化に関すること	50
	制御技術に関すること	6
	電気、電子技術に関すること	1,862
窯業関連	窯業(製造)技術に関すること	1
	セラミックス技術に関すること	5
プラスチック関連	プラスチック技術に関すること	553
	接着・複合化技術に関すること	32
デザイン関連	商品企画に関すること	89
	プロダクトデザインに関すること	49
	グラフィックデザインに関すること	8
福祉技術関連	福祉・リハビリテーション用具に関すること	200
環境技術関連	再資源化に関すること	20
	廃棄物処理に関すること	0
	環境等に関すること	1
	環境浄化技術に関すること	0
	省エネ技術に関すること	0
情報・共通関連特記事項	技術情報一般に関すること	10
	機器操作に関すること	101
	製品開発に関すること	45
	生産技術に関すること	8
	材料・製品試験に関すること	1,798
	講習会、研修会等に関すること	23
	アドバイザー指導等に関すること	30
	異業種交流に関すること	1
	情報検索に関すること	0
	特許に関すること	13
	制度融資、補助金等に関すること	23
	経営相談	113
放射線に関すること	15	

	自動車関連(関東相互紹介例)	0
	その他上記以外の事項	236
	海外事業支援に関すること	58
	計 (うち実地指導件数)	13,501 (901)

◆北部研究所

分類	項目	相談件数
分析関連	組成・物性に関すること	10
	素材分析に関すること	8
	成分分析(金属)に関すること	143
	成分分析(非金属)に関すること	97
繊維・デザイン関連	染色加工等に関すること	0
	印刷技術に関すること	0
	染色堅ろう度等に関すること	1
	型紙調整等に関すること	1
	デザイン等に関すること	57
食品関連	酒類の製造に関すること	242
	穀類食品の製造に関すること	66
	調味料の製造に関すること	5
	漬物の製造に関すること	2
	その他食品の製造に関すること	33
	食品成分に関すること	19
	食品素材に関すること	88
	食品分析に関すること	272
素材関連	原材料・薬剤・原料調整に関すること	8
	素材の応用技術に関すること	2
設計・生産関連	切削に関すること	0
	特殊加工(機械等)に関すること	2
	設計に関すること	0
	精密測定に関すること	335
	生産技術(機械等)に関すること	0
	材料・製品試験(機械等)に関すること	0
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	40
	腐食・防食に関すること	129
	熱処理に関すること	2
	塗装技術に関すること	3
材料試験・組織等	材料の強度等に関すること	258
	材料の物性・工業規格に関すること	44
	顕微鏡組織観察等に関すること	312
	材料のクレーム対策に関すること	7
	非破壊検査に関すること	9
環境技術関連	再資源化に関すること	0
	省エネ技術に関すること	0
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	48
	機器操作に関すること	49
	コンピュータ等に関すること	0
	講習会・研究会・鑑評会に関すること	132
	技術アドバイザー指導等に関すること	17
	異業種交流に関すること	0
	法規・規格・表示に関すること	0
	産業情報等の提供に関すること	16
	行政情報等の提供に関すること	28
	放射線に関すること	0
	自動車関連(関東相互紹介例)	14
その他上記以外の事項	14	
	海外事業支援に関すること	0
	小計 (うち実地指導件数)	2,742 (229)

◆合計

機 関 名	相談件数 (うち実地指導件数)
本 所	13,501(901)
北部研究所	2,742(229)

2.1.2 現場改善・製品化支援事業

県内中小企業等の現場改善や製品化における課題を解決するため、依頼のあった企業に専門家を派遣した。その主な実績は、次のとおりである。

◆本 所

産 業 分 野	企業数
食料品製造業	1
化学工業	1
金属製品製造業	4
業務用機械器具製造業	1
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1
電気機械器具製造業	5
その他の製造業	1
その他サービス業	1
小 計	15

技術指導分野	件数
新製品・新技術の開発	1
製品・製造工程の改善	4
品質管理技術の向上	3
規格・基準適合、認証取得	3
その他	4
小 計	15

◆北部研究所

産 業 分 野	企業数
繊維工業	2
金属製品製造業	2
食品工業	1
小 計	5

技術指導分野	件数
新製品・新技術の開発	1
品質管理技術の向上	3
規格・基準適合、認証取得	1
その他	1
小 計	6

※一つの企業が、別内容の2案件実施のため、企業数と件数が異なる。

◆合計

機 関 名	指導企業数	指導日数
本 所	15	50
北部研究所	5	22
合 計	20	72

2.1.3 新技術・新製品開発のためのデザイン力強化事業

県内中小企業等の新技術・新製品開発のためのデザイン力を強化するため、相談・支援体制を強化するとともに、商品企画デザイン塾等を開催した。その主な成果は、次のとおりである。

○ デザイン相談

(1) 相談件数 116件

(2) 相談会の実施 コロナ禍のため外部出張による相談会は無し。

年月日	会場
R2.9.16	SAITEC(オープンラボ)
R3.1.19	Zoom によるオンライン
R3.1.29	Zoom によるオンライン
R3.2.2	Zoom によるオンライン
R3.2.5	Zoom によるオンライン
R3.2.10	Zoom によるオンライン

○ 新商品開発支援

6 件

○ 商品企画デザイン塾の開催

全5回(5日間)、延べ 53 名受講 [詳細は 8.2 参照]

○ 特別セミナーの開催

全2回、延べ52名受講 [詳細は 8.2 参照]

2.2 依頼試験

企業からの依頼に応じて、製品や部品、材料等の試験、測定、分析などを実施した。

2.2.1 依頼試験

依頼試験件数の多かった項目は、本所では機器分析、強度試験及び精密測定であり、北部研究所では強度試験、機器分析及び組織試験であった(その他の依頼試験を除く)。

◆本所

種 類	件 数	金額(円)	
分析	一般分析	65	100,790
	機器分析	2,890	13,499,710
材料試験	強度試験	1,859	2,273,240
	物理試験	95	506,350
	組織試験	775	2,849,140
	耐候性試験	86	512,020
	表面処理試験	564	2,259,800
測定及び検査	精密測定	2,058	4,651,380
	EMC測定	169	1,996,920
	非破壊測定及び検査	534	6,430,210
環境試験	衝撃試験装置による試験	0	0
調製	試験片調製	886	667,080
立会試験		1	1,320
その他依頼試験		4,602	22,596,040
オーダー試験		0	0
試験成績書の複本		5	1,300
小 計		14,589	58,345,300

◆北部研究所

種 類	件 数	金額(円)	
分析	一般分析	144	187,310
	機器分析	988	3,379,390
材料試験	強度試験	1,922	1,384,920
	物理試験	73	181,000
	組織試験	835	1,914,510
	表面処理試験	223	1,332,190
測定及び検査	精密測定	252	855,400
官能試験	温度設定のない試験	36	9,100
調製	試験片調製	464	407,580
その他の依頼試験		1,189	5,389,200
オーダー試験		0	0
試験成績書の複本		3	780
小 計		6,129	15,041,380

◆合計

機 関 名	件 数	金額(円)
本所	14,589	58,345,300
北部研究所	6,129	15,041,380
合 計	20,718	73,386,680

2.2.2 放射線測定依頼試験

平成 23 年 3 月の福島第一原子力発電所の事故発生により、放射能汚染の風評被害が工業製品にも起きた。風評被害に対応するため、平成 23 年度より工業製品の放射線測定の依頼試験を行っている。

検査対象	検査内容	測定単位
1検体の一辺の大きさ 80cm 以内、重量 30kg 以内の工業製品（個体工業製品に限る）	サーベイメータによる製品表面の放射線量測定	cpm μ Sv/h

機関名	件数	検体数
本所	6	34
北部研究所	0	0
合計	6	34

2.2.3 新型コロナウイルス感染症に係る依頼試験手数料減免

新型コロナウイルス感染症の流行を要因として事業活動に著しい影響が生じている中小企業者を経済的支援するため、依頼試験の手数料の減免を開始した。

減免額	対象者の範囲	対象期間
1 単位当たりの金額の 50%を数量で乗じた額	次の要件全てに該当する者 (1) 県内所在であること (2) 令和二年新型コロナウイルス感染症を事由として、中小企業信用保険法第2条第5項第4号（セーフティネット保証4号）の認定を受けた中小企業者であること	令和 2 年 6 月 1 日から 令和 3 年 3 月 31 日まで

機関名	申請数(件)	減免件数(件)	減免額(円)
本所	138	1,073	1,167,150
北部研究所	17	198	421,670
合計	155	1,271	1,588,820

2.3 機器開放

企業の研究開発を支援するため、試験研究機器の開放及び操作技術の認定研修を実施した。

2.3.1 機器開放

企業が利用できる機器は、設計・加工機器、表面観察機器、強度試験機器、精密測定機器、測定機器、試料調整機器、電気・電子測定機器、評価試験機器、分析機器に分類されている。機器の総数は、合計 179 機器である(令和 3 年 3 月末現在)。

本所で特に利用件数の多かった機器は、シールドルーム電磁波試験測定装置、次いで電磁波障害対策室電磁波試験測定装置、電波暗室電磁波試験測定装置の順であった。利用時間として最も多かった機器は、恒温恒湿槽、次いで冷熱衝撃試験機、複合サイクル試験機の順であった。

北部研究所で利用件数の多かった機器は、万能材料試験機(300kN)、次いで波長分散型蛍光X線分析装置、自記分光光度計の順であった。利用時間として最も多かった機器は、冷熱衝撃試験機、次いで恒温恒湿槽、真空凍結乾燥機の順であった。

分類別の利用総額と利用件数及び利用時間は次のとおりであった。指導時間は、開放機器を使用する際の有料による指導の時間数である。

◆本所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額(円)
設計・加工機器	2,471,300	234	1,370	2,068,800	161	402,500
表面観察機器	144,220	134	369	144,220	0	0
強度試験機器	707,080	279	983	413,330	118	293,750
精密測定機器	3,491,050	368	1,794	2,361,050	455	1,130,000
測定機器	854,240	193	821	751,740	41	102,500
試料調製機器	671,270	74	2,717	636,270	14	35,000
電気・電子測定機器	23,076,760	777	3,148	20,164,260	1,184	2,912,500
評価試験機器	22,163,050	496	19,525	21,490,550	269	672,500
分析機器	1,208,300	165	427	1,195,800	5	12,500
小計	54,787,270	2,720	31,154	49,226,020	2,247	5,561,250

◆北部研究所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額(円)
設計・加工機器	67,200	55	184	67,200	0	0
表面観察機器	0	0	0	0	0	0
強度試験機器	506,810	173	833	394,310	45	112,500
精密測定器	243,690	51	248	166,190	31	77,500
測定機器	26,960	34	130	21,960	2	5,000
試料調製機器	298,430	12	791	297,180	1	1,250
評価試験機器	3,399,030	79	8,707	3,389,030	5	10,000
分析機器	749,630	143	571	717,130	13	32,500
小計	5,291,750	547	11,464	5,053,000	97	238,750

◆合計

機関名	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額(円)
本所	54,787,270	2,720	31,154	49,226,020	2,247	5,561,250
北部研究所	5,291,750	547	11,464	5,053,000	97	238,750
合計	60,079,020	3,267	42,618	54,279,020	2,344	5,800,000

(利用総額:利用金額と指導金額の合計)

2.3.2 機器操作技術認定研修

試験研究機器を利用するに当たり、一定の操作技術が必要なものは研修を実施し、認定証を発行した。

研修日数・参加人数(本所)	34日・67人
研修日数・参加人数(北部)	6日・6人

2.3.3 新型コロナウイルス感染症に係る試験研究機器使用料減免

新型コロナウイルス感染症の流行を要因として事業活動に著しい影響が生じている中小企業者を経済的支援するため、試験研究機器の使用料の減免を開始した。

減免額	対象者の範囲	対象期間
1時間当たりの金額の50%を利用時間で乗じた額(指導員の指導を受ける場合の加算額の50%も対象)	次の要件全てに該当する者 (1) 県内所在であること (2) 令和二年新型コロナウイルス感染症を事由として、中小企業信用保険法第2条第5項第4号(セーフティネット保証4号)の認定を受けた中小企業者であること	令和2年6月1日から 令和3年3月31日まで

機関名	申請数(件)	減免総額(円)	減免件数(件)	減免時間(時間)	減免額(円)	減免指導時間(時間)	指導減免額(円)
本所	44	596,770	47	1,033	540,520	45	56,250
北部研究所	19	23,120	21	153	19,370	3	3,750
合計	63	619,890	68	1,186	559,890	48	60,000

2.4 AI・IoT技術支援事業

低コスト輸入製品の激増や雇用問題に直面する県内企業に対し、AI・IoTを活用した既存生産設備の改良による先進生産システムやスマート工場化に対応したものづくり基盤の構築を支援する。

2.4.1 スマートものづくり支援事業

技術職員が企業を訪問して、既存生産設備に対するセンサー・制御網の配備、情報通信網による接続、生産管理システムの導入など、改造、増設を含めた設備改造の提案、助言を行う他、SAITECに整備した実証環境(SAITEC検証ラボ)による検証試験等により、県内中小企業のスマートものづくり基盤構築を支援した。

・支援企業:28社

2.4.2 AI活用支援

画像診断ソフトや深層学習 AI システムにより、製品の良品・不良品判定の検証試験を行い、AI 導入による効果などを企業に示した。また、深層学習 AI システム、機械学習 AI システムを活用して、企業の製造現場に低コストで導入できるようなプログラムの開発を行い、受託研究等で企業支援を行った。

機械学習 AI システムにおいて音響・振動に加え、AE(アコースティック・エミッション、材料の変形、破壊の際に内部に蓄積していた弾性エネルギーを放出する現象)にも対応するためのプログラム開発・解析を行い、支援機能を拡充した。

・支援企業:12社(12件)

2.4.3 地方版 IoT 推進ラボ

平成28年度に経済産業省とIoT推進ラボが実施している地方版IoT推進ラボに、埼玉県IoT推進ラボとして選定され、令和2年度も継続して活動した。

・構成:埼玉県産業技術総合センター、(公財)埼玉県産業振興公社、(公財)さいたま市産業創造財団

2.4.4 ものづくり AI・IoT 化支援事業

(公財)埼玉県産業振興公社と連携し、Raspberry Pi 活用研修を行った。受講者には、ボードコンピュータである「Raspberry Pi」を使ってセンサーデータの取得や表示等を体験してもらい、受講後は教材を1年間の無償貸与とした。また、希望する企業に対して、SAITEC による伴走支援を行った。

- ・第1回 令和2年7月28日 参加者47名(午前23名、午後24名)
- ・第2回 令和2年11月5日 参加者31名(午前15名、午後16名)
- ・第3回 令和3年2月16日
～3月16日 参加者25名(オンデマンド型のWebセミナー)
- ・伴走支援 12件

2.5 ナノカーボンプロジェクト推進事業

先端産業創造プロジェクトの一環として、企業が開発したナノカーボン等を活用した新素材や新製品の評価解析技術の共同開発を行った。

- ・共同開発件数：2件

2.6 新エネルギープロジェクト推進事業

先端産業創造プロジェクトの一環として、次世代蓄電池(マグネシウム蓄電池)の実用化を進めた。令和2年度は、ラミネートセルのサイクル劣化抑制のための改良を行い、実用化研究会会員企業が製造した電池で効果を確認した。また、平成30年度に開発した負極材料について、連携企業が量産化に成功しサンプル提供を開始した。

活用製品研究会からの高出力化への要望に応えるため、連携企業と共同でマグネシウムとリチウムのハイブリッド化による高出力で安全な蓄電池の開発を進め、基本特許を出願した。

2.7 Support×Tech (サポートテック) によるものづくり環境の変革推進事業

AI/IoT 等テクノロジーの急激な進歩を背景に、設計、試作プロセスのデジタル化による省力化、省資源化、形状最適化による高付加価値化が求められている。SAITEC のデジタルものづくり環境を活用した支援や、技術の普及啓発を行った。

2.7.1 埼玉県デジタルものづくり研究会

3D データを活用したデジタルものづくりについて、広く情報交換を行う場として「埼玉県デジタルものづくり研究会」を発足させた。

- ・会員 24社
- ・第1回講演会 令和2年12月18日 参加者22名

2.8 技術支援等による実用化・商品化

技術支援及び研究開発等によって、企業が技術を実用化し、または開発したものを商品化した案件は14件である。代表的な例を次に挙げる。

- (1)ミニ米麴パンの開発、商品化支援
- (2)ごはんぱんの開発、商品化支援
- (3)伝統技術を活用した新たな製品開発を支援
- (4)きくらげ麴の開発、デザイン及び商品化支援

2.9 培養酵母の頒布

種別	本数	金額(円)
酒類用酵母等	815本	489,000
味噌用酵母	6本	9,000
合計	821本	498,000

3 研究開発

埼玉県産業技術総合センターでは、県内産業の技術力強化を図るため、社会的ニーズや新技術・新製品の開発及び生産システム等の課題に対応した研究開発や企業からの依頼による受託研究等を実施し、研究成果の発表や技術相談・指導等を通じて研究成果の技術移転を行った。

また、研究の計画及び終了段階における外部評価委員による研究評価、外部専門家の客員研究員による研究指導等、研究の効果的・効率的推進に努めた。

3.1 研究開発

政策的研究課題

(1) 政策的研究開発事業(産業支援研究)

◆本所

- 表面改質による FRP の高機能化
- 車椅子バスケットボールの競技成績向上に資する車椅子の開発
- 酸化マンガン-リチウム金属二次電池の開発
- 機械学習 AI による CFRP 破壊過程の AE 波形評価方法の開発

◆北部研究所

- 未利用小麦ストリーム粉の活用による国産小麦パンの風味向上

(2) 新技術開発推進事業(独創的技術形成研究、技術支援高度化研究)

◆本所

- 積層造形物に対するめっき処理の検討
- 電気化学プロファイルによる水中炭酸濃度評価

◆北部研究所

- 接着材用水分拡散係数評価セルの開発
- 酒造原料米の品質評価への AI の活用に関する研究

(3) 競争的資金による研究開発等

[令和2年度戦略的基盤技術高度化支援事業 関東経済産業局]

- 製品の色に基準値を与えることで AI 自動配色できる総合色管理システムの開発

[農業機械技術クラスター事業 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構農業技術革新工学研究センター]

- 越冬ハクサイ頭部結束機の開発

[2019 年度学術研究助成 (公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団]

- イムノクロマト試験紙によるパン種微生物叢のモニター技術の開発

[2020 年度調査・研究開発助成 (一財)内藤泰春科学技術振興財団]

- MEMS 温湿度センサを用いた多連式水分活性測定装置の開発

3.1.2 受託研究等

(1) 企業からの受託研究

	件数	金額 (円)
本所	14	3,274,000
北部研究所	8	1,118,600
計	22	4,392,600

(2) 外部競争的資金による受託研究

	件数	金額 (円)
本所	0	0
北部研究所	1	272,161
計	1	272,161

(3) 外部競争的資金による研究開発(補助金、助成金)

	件数	金額 (円)
本所	1	614,262
北部研究所	2	3,800,000
計	3	4,414,262

※科研費を除く

3.1.3 科学研究費助成事業(科研費)

平成 26 年 10 月 15 日付で科学研究費補助金取扱規程に規定する研究機関に指定された。機関番号は 82410 である。

(1) 応募

応募時期	研究種目	応募数	
		研究代表者	研究分担者
令和2年 11 月	基盤研究(B)	-	2
令和2年 11 月	基盤研究(C)	-	1
令和2年 11 月	若手研究	1	-

(2) 採択

採択時期	研究区分	テーマ	所	研究者区分	研究期間	交付予定額(全年)	
						直接経費(千円)	間接経費(千円)
令和2年4月	基盤研究(C)	福祉用具の開発および利活用の促進のための、安全性・機能性担保方策の探求	本所	研究代表者	R2～R5	3,300	990
令和2年4月	若手研究	麺製品の風味形成に影響する生地中の酸化酵素の挙動とその制御	北部	研究代表者	R2～R4	3,200	960
令和2年4月	基盤研究(C)	寝たきり患者が車椅子シーティングを活用するための看護援助方法の検証	本所	研究分担者	R2～R5	※3,300	※990

※当センター分はこのうちの一部。

(3) 実施

研究区分	テーマ	所	研究者区分	交付額	
				直接経費(千円)	間接経費(千円)
基盤研究(C)	福祉用具の開発および利活用の促進のための、安全性・機能性担保方策の探求	本所	研究代表者	※a 1,100 (700)	※a 330 (240)
基盤研究(C)	メタゲノム解析による食品衛生指標菌の選抜と汚染源推定技術への応用	北部	研究代表者	700	210
若手研究(B)	麺の加工工程における風味形成メカニズムの解明	北部	研究代表者	※b 0	※b 0
若手研究	麺製品の風味形成に影響する生地中の酸化酵素の挙動とその制御	北部	研究代表者	1,600	480
基盤研究(C)	円背高齢者の摂食時の誤嚥リスクを低減させる姿勢およびテーブル調整の支援指針の作成	本所	研究分担者	150	45
基盤研究(C)	寝たきり患者が車椅子シーティングを活用するための看護援助方法の検証	本所	研究分担者	300	90

※a 外部へ支払う分担金を含む。カッコ内は分担金を除いた金額。

※b 1年間延長したため、資金交付はない。

3.2 客員研究員

外部の専門家・有識者を当所の客員研究員として依頼し、当所が進める各分野の研究に対して助言指導を受けた。

客員研究員		指導分野	指導日数
埼玉大学	坂井 建宣 氏	先端ものづくり	3
帝京平成大学	前田 竜郎 氏	農林・食品	1
東京電機大学	椎葉 究 氏	農林・食品	1
東京大学	石井 正治 氏	バイオテクノロジー	1
東京都立大学	信太 奈美 氏	ヘルスケア	1
東京保健医療専門職大学	杉山 真理 氏	ヘルスケア	1
6 名		4 分野	8

3.3 研究成果の公表

3.3.1 センター主催の発表

◆本所

SAITEC オープンラボ (掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第 18 巻、第 17 巻および第 16 巻』)

年月日	発表題目	発表者名
R2.9.16	高周波誘電加熱を利用した接合技術の開発	化学技術担当 焼田 裕之
	炭素繊維強化樹脂(CFRP/CFRTP)へのめっき技術の開発	化学技術担当 熊谷 知哉
	表面改質による FRP の高機能化	材料技術担当 小熊 広之
	溶剤による炭素繊維強化ナイロン複合材料のリサイクル	化学技術担当 坂本 大輔
	車椅子バスケットボールの競技成績向上に資する車椅子の開発	電気・電子技術・ 戦略プロジェクト担当 半田 隆志
	アニオン交換固体高分子形燃料電池の開発 —キトサン電解質膜のアニオン伝導性向上—	化学技術担当 稲本 将史

	電池評価セルの開発	電気・電子技術・ 戦略プロジェクト担当 栗原 英紀
	積層造形物の樹脂特性情報の整備	機械技術担当 田中 拓也

◆北部研究所

SAITEC 北部研究所研究・支援成果発表会

年月日	発表題目	発表者名
R2.11.11	麺製品の高付加価値化に向けた味・香り向上技術の開発	食品プロジェクト担当 仲島 日出男
	埼玉酵母を用いたビールの醸造	食品・バイオ技術担当 和田 健太郎
	依頼試験での事例紹介(顕微鏡・精密測定)	材料・機械技術担当 秋山 稔 信本 康男

3.3.2 学会等への発表(国際会議含む)

◆本所

年月日	発表題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
R2.4.19 (コロナ禍で中止となり、要旨のみ配布)	オゾンを用いた炭素繊維強化樹脂へのめっき技術に関する研究	熊谷 知哉 他2名	日本医療環境オゾン学会	
R2.6.2	移動式ダクト清掃装置	山崎 彰太		JST新技術説明会 (Webサイトでの技術紹介)
R2.6.30	人工膝関節置換術支援のための3軸慣性センサを用いた機能軸推定システムの開発	半田隆志、鈴木浩之、白石知久、香西良彦、他		ライフサポート
R2.9.10	高周波誘電加熱を利用した接合技術の開発	焼田 裕之	TIRIクロスミーティング2020	
R2.9.11	溶剤を用いた熱可塑性CFRPのリサイクル	坂本 大輔	TIRIクロスミーティング2020	
R2.12.5	劣化抑制を目的としたチタンコーティングCFRPの機械的特性評価	白石 知久	日本実験力学会分科会合同ワークショップ2020	
R2.12.14 ～ R2.12.25	埼玉県産業技術総合センターにおけるデジタルものづくり支援	都知木 邦裕		第14回TKFオープンフォーラム(オンデマンド型)
R2.12.18	溶液含浸法による炭素繊維強化ポリカーボネートの成形および分離・回収方法の検討	小熊広之、坂本大輔、信本康男、島崎景正		強化プラスリックス VOL.66 No.12
R3.1.18	Evaluation of mechanical Characteristics of GFRP with titanium coating for preventing the ultraviolet degradation	Tomohisa SHIRAIISHI, Hiroyuki OGUMA, Hiroyuki MORITA	American Ceramic Society Poster presentation at ICACC2021	
R3.3.2	TiコーティングによるFRPの耐候性向上	小熊 広之	第12回日本複合材料会議	
R3.3.9	簡易型人工膝関節置換術支援システムの開発	半田 隆志他	ライフサポート学会フロンティア講演会	

◆北部研究所

年月日	発表題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
R2.7.24	Rapid quantification of coliforms in ready-to-eat foods using lateral-flow immunochromatographic assay	Tatsuya Tominaga		Journal of Food Safety, Volume 40, Issue 5
R2.11.27	埼玉酵母を用いたビールの醸造に関する研究	和田 健太郎	千葉県産業支援技術研究所「オープンリサーチ 2020」	

3.4 研究課題の評価

3.4.1 研究評価委員会

令和 2 年度の研究成果について、成果普及の方向性や今後の展開について検討するため、外部専門家を含めた研究評価委員会を開催し、事後評価を行った。併せて、令和 3 年度に実施予定の研究課題について、課題選定や研究計画の洗練を図るための事前評価を行った。

○研究評価委員会

外部委員

〈令和 3 年 2 月 22 日～3 月 17 日 書面審査にて開催〉

(地独)東京都立産業技術研究センター	特任技術アドバイザー	山 中 忠 衛 氏
(一社)埼玉県中小企業診断協会	会長	高 澤 彰 氏
川口商工会議所	企業支援コーディネーター	野 口 満 氏
埼玉大学 オープンイノベーションセンター	センター長	松 岡 浩 司 氏

3.4.2 中間評価

研究の進捗状況を把握し、その進行を適切に管理するために中間ヒヤリングを以下のとおり実施した。

・産業支援研究 令和 2 年 10 月 26 日

4 研究開発支援

中小企業の研究開発支援及び産学官連携を推進するため、技術相談や共同研究による企業の支援を行った。また、研究発表会等を開催し、SAITEC の研究成果を紹介した。さらに、特許の取得推進とその利用に努めた。

4.1 産学官連携の推進

4.1.1 産学官連携推進について

SAITEC における研究開発について、県内企業等と共同研究を行うなどして連携の推進を図った。外部競争的資金については、産学官連携により継続 2 件、新規 1 件の採択を得た。

また、SAITEC 研究発表会の開催や、産業交流展など他機関主催の展示会へも積極的に参加し研究等の説明を行った。

さらに、産学連携支援センター埼玉が主催する産学連携ネットワーク会議に参加し、県内工科系大学及び県内金融機関等と産学官連携の情報交換、連携推進を行った。

4.1.2 産学官連携関連展示会(主催事業)

(1) SAITEC オープンラボ

SAITEC の研究・事業成果の展示・発表及び、埼玉県先端産業創造プロジェクトの成果に関する情報提供などを県内企業等に向けて行った。

開催日：令和 2 年 9 月 16 日(水)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：45 名

内容：SAITEC 及び他県公設試験研究機関、先端産業創造プロジェクトの成果発表、ポスター展示、講演、

(1)研究成果発表

○SAITEC 職員による発表 8 テーマ [内容は 3.3.1 項を参照]

○他県公設試からの発表 4 テーマ (東京都、神奈川県、千葉県、富山県)

(2)講演

○テーマ 「DX 時代の生き残り策 -何から取り組むべきか-」

ウルシステムズ(株) 主席コンサルタント 上原 健志 氏

○テーマ 「次世代モバイル通信 5G と富士通の取り組み」

富士通(株) シニアマネージャー 宮本 共殖 氏

(3)成果展示会 (SAITEC、先端産業創造プロジェクト、埼玉大学、TKF 設備紹介等)

(2) SAITEC 北部研究所研究・支援成果発表会

当研究所の研究・支援成果を発表した。併せて、食品開発を促進するための情報提供、高付加価値食品開発研究会会員企業の商品開発事例紹介等を行った。

開催日：令和 2 年 11 月 11 日(水)

会場：新都心ビジネス交流プラザ

来場者：44 名

内容：SAITEC の研究・支援成果の発表、商品開発事例紹介、講演及び新規おいしさ評価機器の紹介

(1)研究・支援成果発表 3 テーマ[内容は 3.3.1 項を参照]

(2)講演

テーマ「あなたの会社の認知度とブランド力を高める！地域資源を活かした商品開発の考え方」

Local-Fooddesign 代表 坂本 貴秀 氏

(3)商品開発事例紹介 3 テーマ 埼玉ブランド食品開発研究会会員 3 企業発表

(4)新規おいしさ評価機器の紹介

「味覚センサー」、「ガスクロマトグラフ質量分析装置」、「クリーブ試験装置」

4.1.3 産学官連携に関連する展示会

令和2年度は、主催の展示会のみならず、外部機関からの出展依頼のあったものについても積極的に出展した。
令和2年度の出展実績は以下のとおりである。

年 月 日	展示会の名称	開催場所	閲覧人数
R3.1.20～2.19	ヴァーチャル産業交流展 2020	オンライン	43
R3.1.8～2.8	オンライン彩の国ビジネスアリーナ	オンライン	572 (産学連携全体)

4.2 助成制度への取り組み

埼玉県産業技術総合センターでは、県内中小企業の技術的支援機関として、国等の助成制度(補助金、委託事業等)を積極的に活用するための取り組みを行っている。

4.2.1 研究開発型企業支援事業

県内中小企業に対し、国等が実施する助成制度への応募に向けて、大学、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構などの国立研究開発法人等との連携の基に支援を行った。

結果、外部競争的資金では、継続1テーマ及び新規1テーマを実施した。

令和元年度補正・令和2年度補正の「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」については、令和2年度に2次締切～5次締切があり、相談支援を3社に対して行った。

4.2.2 埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績

施策名(実施機関)	プロジェクト名	共同研究体制
令和2年度戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	製品の色に基準値を与えることでAI自動配色できる総合色管理システムの開発	(株)中川ケミカル(研究代表者) 日本色研事業(株) 埼玉大学 (一財)日本色彩研究所
農業機械技術クラスター事業 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構農業技術革新工学研究センター)	越冬ハクサイ頭部結束機の開発	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構農業技術革新工学研究センター(研究代表者) 東洋精機(株)

4.3 特許の取得推進とその活用

4.3.1 産業財産権の一覧

令和2年度は、新たに1件の特許出願があった。

(1) 特許権(センターが所有する特許全43件(未公開5件含む)のうち、登録又は出願公開されたもの)

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
1	発酵風味菓子の製造方法	H15.6.6 特願 2003-162045	H16.12.24 特開 2004-357631	H20.9.19 4188146	井上 和春	みたけ食品工業(株)、(株)愛工舎製作所 共同
2	粘弾性測定装置および粘弾性測定方法	H15.10.31 特願 2003-372299	H17.5.26 特開 2005-134295	H21.4.24 4299100	關根 正裕 荻野 重人	(有)サンズコーポレーション 共同
3	漬床及びこれを用いた漬物の製造方法	H16.3.30 特願 2004-098398	H17.10.13 特開 2005-278531	H20.10.24 4205006	井上 和春 大澤 千恵子	みたけ食品工業(株)、(株)愛工舎製作所、東洋大学 共同
4	大腸菌群の汚染源特定方法及びその検出に使用する大腸菌群検出用培地セット	H17.8.8 特願 2005-229680	H19.2.22 特開 2007-43921	H23.7.29 4789540	富永 達矢 關根 正裕	
5	センサー機能付アクチュエータ装置および粘弾性測定装置	H18.7.20 特願 2006-198697	H20.2.7 特開 2008-29111	H25.2.8 5190606	關根 正裕	(有)サンズコーポレーション、(有)カトランスフォーマ、共同
6	身体傾斜角計測器および身体ねじれ角計測器	H19.5.29 特願 2007-141889	H20.12.11 特開 2008-295527	H23.12.16 4885795	半田 隆志	他2名共同
7	樹脂構造物の製造方法	H19.3.23 特願 2007-76552	H20.10.2 特開 2008-231355	H25.3.1 5205636	山田 岳大	
8	動的粘弾性測定装置	H21.6.1 特願 2009-131935	H22.2.4 特開 2010-25923	H25.8.2 5327532	山田 岳大 關根 正裕	
9	加熱調理装置	H21.6.8 特願 2010-516841	H21.12.17 PCT/JP2009/60429	H24.11.9 5130363	關根 正裕 樋口 誠一 高橋 学 常見 崇史	(株)T.M.L、学校法人早稲田大学 共同
10	振動生成装置、動的粘弾性測定装置、および、動的粘弾性測定方法	H20.8.22 特願 2008-214580	H22.3.4 特開 2010-48722	H25.4.5 5233044	關根 正裕	(株)GMタイセー 共同
11	変位拡大装置	H20.9.8 特願 2008-229737	H22.3.25 特開 2010-68549	H25.5.2 5256414	荻野 重人	
12	品質評価装置	H20.10.27 特願 2008-275700	H22.5.6 特開 2010-101839	H25.6.7 5282231	關根 正裕 栗原 英紀 富永 達矢	(株)真韻 共同
13	ドレッシング及びその製造方法	H20.12.26 特願 2008-331697	H22.7.8 特開 2010-148468	H25.11.15 5407035	井上 和春	みたけ食品工業(株)、東洋大学、(株)愛工舎製作所 共同
14	射出成型装置	H21.4.28 特願 2009-110173	H22.11.18 特開 2010-260175	H22.11.19 4628476	山田 岳大	PLAMO(株) 共同
15	正極活物質、マグネシウム二次電池および正極活物質の製造方法	H21.11.17 特願 2009-261903	H23.6.2 特開 2011-108478	H26.3.20 5499281	栗原 英紀 斉田 吉裕 稲本 将史	
16	加熱調理装置、および、加熱調理方法	H22.3.12 特願 2012-504256	H23.9.15 WO/2011/111231	H25.10.18 5386701	關根 正裕	(株)T.M.L、(株)新井機械製作所 共同
17	バーチャルウエスタンブロットティングシステム	H22.4.28 特願 2012-512589	H23.11.3 WO/2011/135692	H27.1.30 5685777	關根 正裕	(株)エヌビー健康研究所 共同

番号	名称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
18	切削加工装置、振動条件提示装置及びその方法	H23.3.9 特願 2011-52238	H24.10.4 特開 2012-187656	H27.3.27 5716955	南部 洋平 落合 一裕	
19	米飯製造方法及び米飯製造装置	H24.1.29 特願 2012-009321	H25.8.1 特開 2013-146224	H28.5.27 5938588	關根 正裕	(株)T.M.L、早稲田大学 共同
20	樹脂接合方法	H24.2.17 特願 2012-032540	H25.8.29 特開 2013-166904	H29.4.14 6123047	關根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
21	ガイド器具設置誤差検出装置	H24.8.10 特願 2012-178914	H26.2.27 特開 2014-36700	H29.4.14 6123061	半田 隆志	アルスロデザイン(株)、埼玉医科大学 共同
22	接着剤及び樹脂接合方法	H24.8.17 特願 2012-180727	H26.2.27 特開 2014-37489	H29.3.3 6097914	關根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
23	固体樹脂の接合方法	H24.11.22 特願 2012-256570	H26.6.9 特開 2014-105215	H29.6.9 6152528	山田 岳大	前澤化成工業(株) 共同
24	角度計測システム及びプログラム	H24.12.6 特願 2012-267211	H26.6.26 特開 2014-113197	H30.3.30 6311096	半田 隆志	アルスロデザイン(株)、(株)レキシー 共同
25	吸熱マット、保護カバー	H24.12.11 特願 2012-270444	H26.6.26 特開 2014-115885	H29.9.15 6205548	關根 正裕	市原清二 共同
26	燃料用電池用触媒及びカソード	H25.2.28 特願 2013-39566	H26.9.11 特開 2014-167876	H29.3.3 6098871	栗原 英紀 稲本 将史	
27	アクチュエータ	H25.3.27 特願 2013-66299	H26.10.6 特開 2014-193015	H29.5.26 6145674	荻野 重人	
28	位置決め機構	H26.1.31 特願 2014-17257	H27.8.6 特開 2015-143783	H30.7.20 6369741	荻野 重人	
29	試料の水蒸気透過度測定装置及び水蒸気透過度測定方法	H27.3.5 特願 2015-043135	H28.9.5 特開 2016-161527	H30.12.14 6446683	飯塚 真也	
30	電解液及びマグネシウム二次電池	H27.7.13 特願 2015-139770	H29.1.26 特開 2017-22024	R1.7.19 6554645	栗原 英紀 稲本 将史	本田技研工業(株) 共同
31	酸素還元触媒、その製造方法および燃料電池	H28.8.18 特願 2016-160323	H30.2.22 特開 2018-29011	R3.3.16 6853630	栗原 英紀 稲本 将史	
32	圧子押し込み装置	H28.9.26 特願 2016-186939	H30.4.5 特開 2018-054318	R2.7.13 6733395	荻野 重人	
33	濾過シート材のひだ折り装置、そのシステム及び方法	H29.1.26 特願 2017-012360	H30.8.2 特開 2018-118218		奥野 慎	東洋精機(株) 共同
34	正極活物質、正極活物質の製造方法、正極および二次電池	H29.9.15 特願 2017-177820	H31.4.4 特開 2019-053910		栗原 英紀 稲本 将史	三桜工業(株)、(株)田中化学研究所 共同
35	水蒸気透過度及び質量変化測定装置並びにその測定方法	H29.10.17 特願 2017-200956	R1.5.16 特開 2019-074418		飯塚 真也	
36	移動式ダクト清掃装置	H29.12.6 特願 2017-234478	R1.6.24 特開 2019-098287		荻野 重人 山崎 彰太	
37	繊維強化樹脂複合材のリサイクル方法及びそのシステム	H29.12.14 特願 2017-239250	R1.6.27 特開 2019-104861		坂本 大輔	
38	食品検査システムおよびプログラム	H30.6.1 特願 2018-106268	R1.12.12 特開 2019-211288		白石 知久	三州製菓(株) 共同

(R3.3.31 現在)

(2) 実用新案登録

番号	名 称	出願年月日 出願番号	登録年月日 登録番号	考案者	備考
1	ひだ折り濾紙用広角漏斗	H29.12.18 実願 2017-5693	H30.2.7 3215155	奥野 慎	東洋精機(株) 共同

4.3.2 実施許諾

令和2年度は計6件の実施許諾契約を締結し、実施許諾先企業数は合計16社(使用特許等数は31件)となった。

5 交流

県内中小企業の技術交流を支援するとともに、他の鉱工業公設試験研究機関との交流に努めた。また、講演会、審査会、各種会議等に職員を派遣した。

5.1 異業種交流支援事業

5.1.1 産学官交流プラザ

埼玉県技術交流プラザ終了企業を中心として発足し、技術及び経営等に関する情報交換等を行った。総会・役員会の開催は合計5回であった。コロナウィルス感染防止の観点から例会・研修会などは中止となった。主な活動実績は次のとおりである。

会 長：岩崎 一隆((株)岩崎食品工業 会長)

会員数： 23 社

年月日	開催場所	内 容
R2.5.18	メールによる開催	第1回役員会 年度計画の打合せ
R2.5.21	メールによる開催	総会(コロナウィルス感染防止の観点から、電子メールを活用したオンライン開催)
R2.8.4	埼玉県産業技術総合センター	第2回役員会 県内企業視察先検討、講演会打合せ等
R2.10.22	埼玉県産業技術総合センター	第3回役員会 企業視察、講演会について検討
R.3.3.22	埼玉県産業技術総合センター	第4回役員会 令和2年度の活動の確認、令和3年度の事業計画について 役員改選の時期について

5.1.2 さきたま利根テクノプラザ(STTEP)

本会は、平成6年に埼玉県繊維工業試験場(当時)主催の異業種交流会(埼玉県利根エリアテクノプラザ)として発足し、会員相互における技術開発及び経営課題に関する情報交流を重ねて信頼関係を築き上げてきた。

平成9年にグループ名を現在の名称に改め、基本理念を「生涯の友人づくりの為に」と位置付け、経営者の資質と文化意識の向上を図るため、経営・技術情報等の交換や文化的な活動を行ってきた。

また、中小企業の発展及び産業支援機関等との人的ネットワークの拡大を目指した活動も行った。

代 表：小菅 一憲(東洋パーツ(株) 会長)

参加企業： 11 企業

年月日	開催場所	内 容
R2.7.3	長瀬「長生館」	①自社の現況について ②その他意見・交換

5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)

各種研究会、交流会を支援するため、各会事務局を担当した。

5.2.1 鋳物技術委員会

本委員会は本県鋳物工業の生産技術の向上を目的として設立され、鋳造技術コンクール、鋳造技術に関する講演会・講習会の内容の検討等を主な事業としている。なお、委員会は、県依頼の委員 3 名、業界依頼の委員 5 名及び川口市職員 1 名、県職員 2 名の 11 名の委員にオブザーバー1名の合計 12 名で構成する。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見合わせた。

(役員) 委員長 ものづくり大学 名誉教授 鈴木 克美 氏
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 材料技術担当
川口鋳物工業協同組合 総務課

5.2.2 埼玉県ものづくり研究会

本研究会は、ものづくりのコア技術並びに関連技術の普及、向上に寄与することを目的に、平成 19 年 7 月に埼玉県NC工作機械研究会と埼玉県金型研究会を発展的に統合し設立され、講演会、講習会の開催、加工・組み立て技術に関する研究開発、技術者の養成等を主な事業としている。令和2年度は活動を行わなかった。

(会員数) 37 社(正会員 33、賛助会員 4)
(役員) 会長 (株)ユニテックギア 斉藤 正洋 氏
副会長 (株)田口型範 田口 順 氏
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 機械技術担当

5.2.3 埼玉県熱処理技術研究会

本会は、熱処理関連企業の熱処理技術の向上を目的として昭和 44 年 6 月に設立され、講演会の開催、工場見学、会報の発行を主な事業としている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動休止となり、総会のみ書面表決により開催した。

(会員数) 51 社
(役員) 会長 山方技術士事務所 山方 三郎 氏
副会長 (株)伸和熱処理 時枝 宏幸 氏
" (有)中村熱処理工業所 中村 賢一 氏
" 日新化熱工業(株) 横山 聡洋 氏
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター材料技術担当

5.2.4 清酒製造技術研究会

県産清酒の品質向上、清酒の多様化に対応する品質設計、清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために研究会を開催した。

(会員数) 34 社
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 食品・バイオ技術担当

(1) 新酒研究会

全国新酒鑑評会出品酒或いは同等の清酒を、出品酒と同様の条件で保管した後に官能評価する。保管による酒質変化を検討し、今後の出品管理の一助にする。併せて、きき酒能力の向上を図る。

実施日:令和2年5月13日

出品点数:7点(7場)

参加者:なし(感染症拡大防止のため企業からの参加は取り止め、職員のみで評価した)

(2) 清酒研究会

清酒の多様化に対応する品質並びに清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために、出品酒の官能評価を行い、製造管理及び貯蔵・出荷管理について検討する。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質判定能力の向上を図る。

実施日:令和2年9月8日

出品点数:吟醸酒の部 41点(12場)

純米吟醸酒の部 20点(10場)

純米酒の部 10点(6場)

参加者:13名(杜氏、酒造担当者)

(3) 吟醸酒研究会

令和元酒造年度全国新酒鑑評会金賞受賞杜氏をパネラーとし、パネルディスカッション等を通じて吟醸酒造りの技術水準向上を図る。

実施日:令和2年9月25日

参加者:16名(杜氏、酒造担当者)

パネルディスカッション:「吟醸酒づくりの要点」

パネリスト	武甲酒造(株)	長谷川 杜氏
	北西酒造(株)	村上 杜氏
	(株)釜屋	松沼 杜氏
	滝澤酒造(株)	滝澤 杜氏
	五十嵐酒造(株)	小林 杜氏

話題提供(新規導入機器、今年の気候と米の性質)

講師:北部研究所 技師 齋藤健太

(4) 杜氏酒造研究会

清酒製造について本酒造年度における問題点を提起し、今後の酒造管理に反映させる。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る。

実施日:令和3年3月17日

参加者:18名(杜氏、酒造担当者)

きき酒研究会

個別指導

話題提供:「吟醸酒の管理と出品について」	北部研究所 担当部長 横堀 正敏
「水質分析等」	内藤環境管理(株) 鈴木 竜一 氏

5.2.5 埼玉ブランド食品開発研究会

県内中小食品関連企業が行う高付加価値食品開発や商品化・販売促進など(ブランド化)を支援するために設置。情報提供、開発・試作に係る技術支援、埼玉ブランド食品づくり支援専門アドバイザーの派遣や個別相談会を行った。

令和2年度は研究会を2回、セミナーを4回開催し、参加者はのべ118名であった。また、専門アドバイザーを7社にのべ26回派遣した。会員企業のうち3社が新製品を開発・商品化した。

(会員数) 24社

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 総務・事業化・製品開発支援担当

5.3 首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表：他県を含む】

首都圏の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することにより首都圏産業の活性化を図った。

5.3.1 首都圏公設試連携推進会議(第 60 回)

令和 2 年 10 月 16 日(金) (地独)東京都立産業技術研究センター(Web 会議併用)

5.3.2 首都圏公設試連携推進会議(第 14 回 TKF オープンフォーラム)の開催

(1) 来所参加型

令和 2 年 10 月 27 日(火) (地独)神奈川県立産業技術総合研究所

(2) オンデマンド型

令和 2 年 12 月 14 日(月)～12 月 25 日(金) (地独)神奈川県立産業技術総合研究所(Web 配信)

5.3.3 研究発表者相互派遣事業

(1) 発表者派遣

① TIRI クロスミーティング 2020 への参加

令和 2 年 9 月 10 日(木)～9 月 11 日(金)

・材料技術・事業化支援室 化学技術担当 主任 焼田 裕之

「高周波誘電加熱を利用した接合技術の開発」

・材料技術・事業化支援室 化学技術担当 専門研究員 坂本 大輔

「溶剤を用いた熱可塑性 CFRP のリサイクル」

② 千葉県産業支援技術研究所オープンリサーチ 2020 への参加

令和 2 年 11 月 27 日(金)

・北部研究所 食品・バイオ技術担当 専門研究員 和田 健太郎

「埼玉酵母を用いたビールの醸造に関する研究」

※Web 会議による参加

③ 第 14 回 TKF オープンフォーラム(オンデマンド型)への参加

令和 2 年 12 月 14 日(月)～12 月 25 日(金)

・生産技術・事業化支援室 機械技術担当 主任 都知木 邦裕

「埼玉県産業技術総合センターにおけるデジタルものづくり支援」

※資料提供による参加

(2) 発表者受入

① SAITEC オープンラボ

令和 2 年 9 月 16 日(水)

東京都 1 名

神奈川県 1 名

千葉県 1 名

富山県 1 名

5.3.4 パートナー・グループ事業

(1) TKF デザインパートナーグループ会議

年 月 日	場 所	参 加 者
R3.3.22	オンライン (担当：千葉県産業支援技術研究所)	事業化製品化支援担当 赤坂 拓郎、大沼 勇樹

5.3.5 TKFミニインターンシップ事業

(1) 研究者派遣

派遣元	派遣先	期間・人日	内容
電気・電子技術・戦略プロジェクト担当 香西良彦、成田祐治、天沼晃	(地独) 東京都立産業技術研究センター	R2.9.1～R2.9.2 6人日	車載 EMC 測定
電気・電子技術・戦略プロジェクト担当 香西良彦、成田祐治、天沼晃	(地独) 東京都立産業技術研究センター	R2.9.25 3人日	ミリ波帯域電磁波測定システム
材料技術担当 小熊広之、小野裕也 電気・電子技術・戦略プロジェクト担当 森田寛之	横浜市工業技術支援センター	R2.9.25 3人日	表面処理技術
材料技術担当 小熊広之、小野裕也 電気・電子技術・戦略プロジェクト担当 森田寛之	(地独) 東京都立産業技術研究センター	R2.10.9 3人日	表面処理技術

(2) 研究者受入

派遣元	派遣先	期間・人日	内容
(地独) 東京都立産業技術研究センター	材料技術担当 小熊広之	R2.10.7 2人日	機械強度

5.3.6 広域首都圏輸出製品技術支援センター(略称:MTEP)

首都圏の公設試が連携して実施する中小企業の海外展開支援サービスで、国際規格や海外の製品規格についての相談や情報提供、海外の製品規格に適合した評価試験について技術的な支援を実施するもので、平成24年10月24日(地独)東京都立産業技術研究センター内に開所し、令和2年度は以下の事業を行った。

(1) 県内企業の利用実績

432件(機器利用・依頼試験を含む)
うち、専門相談員による相談指導 1件

(2) 運営委員会の開催

令和2年10月16日(金) (地独) 東京都立産業技術研究センター(Web会議併用)

(3) MTEP パートナーグループ活動

① EMC パートナーグループ会

年月日	場所	参加者
R3.1.15	オンライン(主催:栃木県産業技術センター)	電気・電子技術・戦略プロジェクト担当 香西良彦

5.3.7 地域未来投資促進法に基づく連携支援事業

関東地域のものづくり中小企業の次世代自動車産業への参入にむけて、首都圏公設試連携体(TKF)を構成する首都圏1都3県1市の公設試験研究機関を中心とする10の産学官金の各機関が連携して、製品開発から販路開拓までの一貫した支援を実施した。

次世代自動車産業への参入により、これまでの画一的な市場に向けた「ものづくり」から脱却し、ユーザーエクスペリエンス等の高い付加価値製品を作る「コトづくり」への転換を図る企業を包括的に支援した。

(1) 事業普及活動

連携支援事業の活用法を紹介するとともに、パンフレットやチラシを配布した。

① SAITECオープンラボ

令和2年9月16日(水) 埼玉県産業技術総合センター

- ② 第14回 TKF オープンフォーラム(オンデマンド型)
令和2年12月14日(月)～12月25日(金) (地独)神奈川県立産業技術総合研究所(Web配信)
- ③ Markforged で実現する製造革命～画期的な最新の金属プリンタでの部品生産～(オンラインセミナー)
令和3年3月12日(金)～3月22日(月) 千葉県産業支援技術研究所

5.4 RINGS NET (新潟、群馬、埼玉 3県公設試連携)

新潟県、群馬県及び埼玉県の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することを目的に設立し、以下の事業を行った。

5.4.1 担当分野別交流会等の開催

- (1) 上信越静公設研ネット機関長会議(オブザーバー参加)
令和2年5月27日(水) 第2回機関長書面会議(令和元年度活動報告会議)

5.5 講演会等講師派遣

◆本所

年月日	名称	会場	内容	講師
R2.6.24	埼玉大学大学院講義	オンライン	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志
R2.7.1	埼玉大学大学院講義	オンライン	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志
R2.7.8	埼玉大学大学院講義	オンライン	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志
R2.7.15	埼玉大学大学院講義	オンライン	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志
R2.7.22	埼玉大学大学院講義	オンライン	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志
R2.7.29	埼玉大学大学院講義	オンライン	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志
R2.8.5	埼玉大学大学院講義	オンライン	「新材料の製品化プロセス特論」	栗原 英紀 半田 隆志
R2.9.11	第3回 AI・IoT 普及セミナー	オンライン	主催:埼玉県産業振興公社 内容:「SAITECのAI導入支援の取り組みと事例報告」	白石 知久
R2.9.18	3D-CAD& 3Dプリンター無料研修	埼玉大学	主催:埼玉大学・ 内容:3Dプリンタの造形方法と特徴の紹介	南部 洋平 田中 拓也 横山 雄哉
R2.11.9	3D-CAD& 3Dプリンター無料研修	埼玉大学	主催:埼玉大学・ 内容:3Dプリンタの造形方法と特徴の紹介	田中 拓也 横山 雄哉
R2.11.10	経済産業省国際標準化人材育成講座	オンライン	若手標準化担当者への教育セミナー	半田 隆志
R2.11.12～13	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 精密微細加工分科会 第1回積層造形研究会	草津市民交流プラザ	「インクジェット式積層造形装置における樹脂特性の機械的・熱的特性の検討」発表	田中 拓也
R2.11.26	公的機関による支援事例から見るIoT導入のポイント	オンライン	主催:日本事務器(株) 内容:IoTが求められる背景及び支援事例から見る導入のポイント	鈴木 浩之
R2.12.18	埼玉大学AI活用研究会	オンライン	主催:埼玉大学産学連携協議会 内容:「SAITECのAI導入支援の取り組みと事例報告」	白石 知久
R3.1.8	3D-CAD& 3Dプリンター無料研修	埼玉大学	主催:埼玉大学・ 内容:3Dプリンタの造形方法と特徴の紹介	田中 拓也 横山 雄哉

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
R3.1.19	経済産業省国際標準化人材育成講座	オンライン	若手標準化担当者への教育セミナー	半田 隆志
R3.1.26	大学・研究機関等による技術懇談会	新都心ビジネス交流プラザ	「SAITECで行っているFRPに関する研究内容について」	小熊 広之
R3.2.26	3D-CAD&3Dプリンター無料研修	埼玉大学	主催:埼玉大学・ 内容:3Dプリンタの造形方法と特徴の紹介	田中 拓也 横山 雄哉
R3.3.5	3D-CAD&3Dプリンター無料研修 活用事例報告会	オンライン	主催:埼玉大学・ 内容:3Dプリンタの紹介	南部 洋平

◆北部研究所

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
R2.9.9	産学連携技術シーズ発表会	新都心ビジネス交流プラザ	主催:産学連携支援センター埼玉 内容:大豆粉を利用した健康志向食品の開発	仲島 日出男
R2.11.17	令和2年度酒造講話会	熊谷市商工会	研究成果報告他	齋藤 健太 樋口 誠一 横堀 正敏
R2.12.11	東京電機大学理工学部食品製造学II特別講義	オンライン	小麦粉加工(うどん)の科学ー小麦粉加工中の香り成分の研究内容の紹介	成澤 朋之
R2.12.12	日本技術士埼玉県支部講演会	熊谷市コミュニティーセンター	北部研究所概要 農業ロボットの開発について	小島 登貴子 奥野 慎

5.6 技術評価等派遣

新製品開発等の補助金、企業の提案課題などの技術評価及びその他審査会等に職員を派遣した。

年月日	行事等名称	主催
R2.4.20	オープンイノベーション委託業者選定審査会	埼玉県産業振興公社
R2.5.15	オープンイノベーション採択企業選定審査会	埼玉県産業振興公社
R2.5.25～6.10	埼玉県社会課題解決型新技術・新製品開発支援事業費補助金	産業支援課
R2.5.27～6.16	埼玉県地域経済牽引事業創出補助金	企業立地課
R2.6.9～23	埼玉県 AI を活用した機器等開発・実証補助金	先端産業課
R2.6.9～23	埼玉県スマートモビリティ実証補助金	先端産業課
R2.6.9～23	埼玉県先端製品化開発費補助金	先端産業課
R2.6.12	NEDO「福祉用具実用化開発支援事業」	NEDO
R2.6.12	オープンイノベーション実施計画評価委員会	埼玉県産業振興公社
R2.6.19	NEDO「研究開発型スタートアップ支援事業」	NEDO
R2.6.22	オーダーメイド研修受託企業審査会	埼玉県産業振興公社
R2.7.6	埼玉県 AI・IoT・ロボットシステム導入トライアル補助金	(公財)埼玉県産業振興公社
R2.7.20	草加モノづくりブランド認定事業 実行委員会	草加モノづくりブランド実行委員会
R2.7.27	草加市研究開発型企業育成部門補助金審査会	草加市
R2.8.5	第1回川口新製品等開発振興奨励審査会	川口産業振興公社
R2.8.6	埼玉県酒造組合西部ブロック初呑切	埼玉県酒造組合
R2.9.7	NEDO「官民による若手研究者発掘支援事業」	NEDO
R2.9.29	川口 i-mono ブランド・i-waza ブランド認定協議会審査部会	川口商工会議所
R2.9.30～10.1	第91回関東信越国税局酒類鑑評会 一審	関東信越国税局
R2.10.8	川口市産業技術・技能者顕彰制度審査委員会	川口市
R2.10.9	第55回熊谷染競技会審査	NPO 法人熊谷染継承の会
R2.10.9	第60回熊谷染芸展審査	NPO 法人熊谷染継承の会
R2.10.9	第91回関東信越国税局酒類鑑評会 二審	関東信越国税局
R2.12.3～4	令和2事務年度全国市販酒類調査品質評価	関東信越国税局
R2.12.15	NEDO「研究開発型スタートアップ支援事業」	NEDO
R2.12.17	開放特許を活用した学生アイデア審査会・発表会 in 埼玉	さいしんコラボ産学官
R3.1.10	川越ものづくりブランド KOEDO E-PRO 認定有識者会議	川越市、川越商工会議所
R3.1.19	技能検定実技試験(パン製造)	埼玉県職業能力開発協会
R3.1.20	彩の国ベンチャーマーケット表彰審査会	埼玉県産業振興公社 (創業・ベンチャー支援センター埼玉)
R3.1.21	技能検定実技試験(パン製造)	埼玉県職業能力開発協会
R3.2.15	彩の国技能者表彰審査会	産業人材育成課
R3.2.19	埼玉県ふるさと認証食品「みそ」官能審査	農業ビジネス支援課
R3.3.8	埼玉県酒造組合合同持ち寄り研究会	埼玉県酒造組合
R3.3.9	令和2年度一般社団法人さいしんコラボ産学官会員企業表彰	さいしんコラボ産学官
R3.3.29	NEDO「研究開発型スタートアップ支援事業」	NEDO

5.7 会議等への参加

◆本所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
R2.6.3	車椅子・姿勢保持部会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志
R2.6.5	強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議 WT	知事公館	前沢 幸男 高橋 利男
R2.6.6	新加工技術専門委員会 第 69 回委員会	オンライン	山田 岳大
R2.6.12	電子情報通信学会福祉情報工学研究会	オンライン	半田 隆志
R2.6.15	ライフサポート学会理事会・定時総会	オンライン	半田 隆志
R2.6.19	2020年度第1回日本医療環境オゾン学会環境応用部会(オゾン水研究会)	オンライン	熊谷 知哉
R2.6.19	日本生活支援工学会総会	オンライン	半田 隆志
R2.6.22~24	ISO/TC 173/SC 1 会議	オンライン	半田 隆志
R2.6.26	強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議 WT	さいたま共済会館	前沢 幸男 高橋 利男
R2.7.1	地方版 IoT 推進ラボ連絡担当者会議	オンライン	高橋 利男 宇野 彰一
R2.7.1	車椅子試験用ダミーJIS 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.7.3	スーパーサイエンスハイスクール第1回運営指導委員会	書面審査	福島 泰年
R2.7.14	車椅子国際標準分科会	オンライン	半田 隆志
R2.7.14	車椅子試験用ダミーJIS 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.7.17	車椅子試験用ダミーJIS 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.7.21	医療用ベッド国際標準分科会	オンライン	半田 隆志
R2.7.22	車椅子・姿勢保持部会	オンライン	半田 隆志
R2.7.28	福祉用具一般通則 ISO 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.7.30	車椅子牽引用レバーJIS 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.8 月	第 93 回公立鉦工業試験研究機関長協議会総会	書面開催	—
R2.8.5	電動車椅子自動走行 ISO 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.8.6	ISO/TC 173/WG 12 会議	オンライン	半田 隆志
R2.8.17	車椅子試験用ダミーJIS 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.8.28	電子情報通信学会 HCG シンポジウム運営委員会	オンライン	半田 隆志
R2.8.29	介護保険にシーティングを位置づける委員会	オンライン	半田 隆志
R2.9.3	車椅子試験用ダミーJIS開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.9.4	ISO SAG on Accessibility委員会	オンライン	半田 隆志
R2.9.7	車椅子試験用ダミーJIS開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.9.7	ライフサポート学会理事・評議委員会	オンライン	半田 隆志
R2.9.8	電動車椅子自動走行ISO開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.9.8	電子情報通信学会福祉情報工学研究会	オンライン	半田 隆志
R2.9.8	新加工技術専門委員会 第70回委員会	オンライン	山田 岳大
R2.9.10	自動車への車椅子ワンタッチ固定ISO開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.9.15	車椅子・姿勢保持部会	オンライン	半田 隆志
R2.9.24	医療福祉技術シンポジウム	オンライン	半田 隆志
R2.9.24	シーティング介護保険ワーキンググループ会議	オンライン	半田 隆志
R2.9.25	2020年度第2回日本医療環境オゾン学会環境応用部会(オゾン水研究会)	オンライン	熊谷 知哉
R2.10.7-8	ISO/TC 173/WG 11 会議	オンライン	半田 隆志
R2.10.7	TC 173 国内検討委員会	オンライン	半田 隆志

年月日	会 議 名	会 場	出席者
R2.10.16	首都圏公設試連携推進会議、広域首都圏輸出製品技術支援センター運営委員会	(地独)東京都立産業技術研究センター(Web会議併用)	福田 保之 田中 英次 宗形 隆史
R2.10.16	Phoenics ユーザーカンファレンス 2020	オンライン	鳥羽 遼子
R2.10.20	第14回ナノカーボンワーキンググループ全体会合	オンライン	鈴木 理博
R2.10.21	医療福祉技術シンポジウム	オンライン	半田 隆志
R2.10.22~23	福祉情報工学研究会	オンライン	半田 隆志
R2.10.22	自動車への車椅子ワンタッチ固定 ISO 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.10.27	第14回TKFオープンフォーラム	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	宗形 隆史 鈴木 啓介
R2.10.28~29	ISO/TC 173/SC 1/WG 11会議	オンライン	半田 隆志
R2.11.5	電動車椅子自動走行ISO開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.11.9	第42回埼玉県産業振興懇談会	ロイヤルパインズホテル浦和	福田 保之
R2.11.12	ISO/TC 173/SC 1/WG1会議	オンライン	半田 隆志
R2.11.12~13	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 精密微細加工分科会 第1回積層造形研究会	草津市民交流プラザ	田中 拓也
R2.11.17	産学連携支援ネットワーク会議(幹事会)	新都心ビジネス交流プラザ	宗形 隆史
R2.11.17	車椅子国際標準分科会	オンライン	半田 隆志
R2.11.17	車椅子試験用ダミーJIS 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.11.19	医療福祉技術シンポジウム	オンライン	半田 隆志
R2.11.24	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域産業技術連携推進会議・産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会 合同総会	オンライン	福田 保之 田中 英次 宗形 隆史
R2.11.26	先端産業有識者会議	ロイヤルパインズホテル浦和	福田 保之
R2.11.26	福祉用具一般通則ISO開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.11.30	電動車椅子自動走行ISO開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.12月	第111回全国公設鉦工業試験研究機関 事務連絡会議	書面開催	—
R2.12.2	自動車への車椅子ワンタッチ固定ISO開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.12.9	電子情報通信学会福祉情報工学研究会研究専門委員会	オンライン	半田 隆志
R2.12.14	医療用ベッド国際標準分科会	オンライン	半田 隆志
R2.12.14	ライフサポート学会理事・企画部会	オンライン	半田 隆志
R2.12.15	電子情報通信学会 HCG シンポジウム	オンライン	半田 隆志
R2.12.16	地方版 IoT 推進ラボ 個別ヒヤリング	オンライン	高橋 利男 宇野 彰一
R2.12.22	電動車椅子自動走行 ISO 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R2.12.23	車椅子試験用ダミーJIS 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R3.1 月	全国鉦工業試験研究機関事務連絡会議 関東甲信越静ブロック会議	書面開催	—
R3.1.7	自動車への車椅子ワンタッチ固定 ISO 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R3.1.13	車椅子試験用ダミーJIS 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R3.1.15	産業技術連携推進会議知的基盤部会電磁環境分科会 第18回 関東甲信越静EMC研究交流会およびMTEP(広域首都圏輸出製品技術支援センター)EMCパートナーグループ会	オンライン (主催:栃木県産業技術センター)	香西 良彦
R3.1.19	自動車への車椅子ワンタッチ固定ISO開発委員会	オンライン	半田 隆志
R3.1.19	車椅子牽引用レバーJIS開発委員会	オンライン	半田 隆志
R3.1.20~21	ISO/TC 173/SC 1/WG 11会議	オンライン	半田 隆志
R3.2.2	温暖化対策検討専門委員会	オンライン	福田 保之

年月日	会 議 名	会 場	出席者
R3.2.5	彩の国女性研究者ネットワークシンポジウム	オンライン	福田 保之
R3.2.5	スーパーサイエンスハイスクール第2回運営指導委員会	書面審査	福島 泰年
R3.2.9	ライフサポート学会理事・企画部会	オンライン	半田 隆志
R3.2.16	ISO 7176-26 改定会議	オンライン	半田 隆志
R3.2.24	ISO/TC 173/SC 1 会議	オンライン	半田 隆志
R3.3.3	第 61 回 産業技術連携推進会議総会	オンライン	福田 保之 宗形 隆史
R3.3.4	ISO 16840-1 改定会議	オンライン	半田 隆志
R3.3.5	異業種交流大会	オンライン	福田 保之
R3.3.5	電子情報通信学会福祉情報工学研究会専門委員会	オンライン	半田 隆志
R3.3.11	プラスチック廃棄物処理問題を踏まえた生分解性プラスチックの基礎から製品設計まで	オンライン	山田 岳大 大澤 旺欣
R3.3.12	新加工技術専門委員会 第 72 回委員会	オンライン	山田 岳大
R3.3.16~17	ISO/TC 173/SC 1/WG 1 会議	オンライン	半田 隆志
R3.3.18	地方版IoT推進ラボ担当者会議 サイバーセキュリティ成果報告会	オンライン	宇野 彰一 鈴木 浩之
R3.3.22	TKFデザインパートナーグループ会議	千葉県産業支援技術研究所	赤坂 拓郎 大沼 勇樹
R3.3.24	発泡・超臨界流体利用加工技術専門委員会	オンライン	山田 岳大

◆北部研究所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
R 2.6.5	秩父産の山田錦の田植えの視察	秩父市内圃場	横堀 正敏 齋藤 健太
R2.9.15	第46回酒米研究会	オンライン	齋藤 健太
R2.9.16	「車両分解研究会」発足会・分解立会い見学会	埼玉自動車大学校	信本 康男 高橋 勝
R2.10.5	熊谷市産さけ武蔵圃場視察	市内圃場	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
R2.10.12	酒米研究会 碎米率判定基準設定のオンライン会議	オンライン	齋藤 健太
R2.10.23	第65回全国酒造技術指導機関合同会議	(書面開催)	横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太郎 齋藤 健太
R2.11.10	埼玉県クラフトビール製造者情報交換会	浦和税務署	樋口 誠一 和田 健太郎 齋藤 健太
R2.11.12	第10回医工連携セミナー	新都心ビジネス交流プラザ (オンライン)	信本 康男
R2.11.17	埼玉県産学連携支援ネットワーク会議(幹事会)	新都心ビジネス交流プラザ	増田 文之
R2.12.3	産業技術連携推進会議 令和2年度 知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会	オンライン	信本 康男 笠原 章裕
R3.1.14	Kansai-3D 公設試験研究機関勉強会	オンライン	信本 康男 笠原 章裕
R3.2.5	埼玉大学女性研究者ネットワーク セミナー	オンライン	小島 登貴子
R3.2.6	熊谷高等学校 SSH 運営指導委員会(外部評価委員)	オンライン	小島 登貴子
R3.2.16	第3回モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会 技術セミナー	オンライン	信本 康男 高橋 勝

年月日	会 議 名	会 場	出席者
R3.2.26	第3回日本ワインの製造に関する技術情報交換会	オンライン	横堀 正敏 齋藤 健太
R3.3.9	農林水産消費安全技術センター 令和元年度食品表示関係調査研究評価委員会	さいたま新都心合同庁舎	小島 登貴子
R3.3.30	令和2酒造年度春季清酒鑑評会表彰式	マロウドイン熊谷	小島 登貴子 横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太郎 齋藤 健太

5.8 次世代自動車支援事業の運営支援

(公財)埼玉県産業振興公社(次世代自動車支援センター埼玉)が実施する次世代自動車の『2020 年度分解研究会』の車両分解展示に対し、同事業に協力・支援のため当センターを展示会場とした。

(1)展示車両

ホンダ フィット

(2)SAITEC 展示会場における主な行事

①車両分解研究 分解部品確認会

令和2年10月1日、2日 21社延べ55名参加

②分解部品展示期間(参加企業による部品調査)

令和2年10月2日～令和3年2月26日

(3)その他参考データ

分解調査研究参加企業数 33社

6 情報提供

当センターの利用を促進し、業務の成果・結果などを公表するため、SAITEC オープンラボ等の開催・各種印刷物の発行やウェブサイト上での情報発信を行った。また、記者発表等を行うことにより、各種メディアに取り上げられた。

6.1 技術普及業務

6.1.1 SAITEC オープンラボ

SAITEC (埼玉県産業技術総合センター)の研究・事業成果の展示・発表及び、埼玉県先端産業創造プロジェクトの成果に関する情報提供などを県内企業等に向けて行った。

開催日：令和2年9月16日(水)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：45名

内容：SAITEC 及び他県公設試験研究機関、先端産業創造プロジェクトの成果発表、ポスター展示、講演、デザイン相談会

(1)研究成果発表

SAITEC 職員による発表 8テーマ [内容は3.3.1項を参照]

他県公設試からの発表 4テーマ (東京都、神奈川県、千葉県、富山県)

(2)講演

テーマ 「DX時代の生き残り策ー何から取り組むべきかー」

ウルシステムズ(株) 主席コンサルタント 上原 健志 氏

テーマ 「次世代モバイル通信 5G と富士通の取り組み」

富士通(株) シニアマネージャー 宮本 共殖 氏

(3)成果展示会 (SAITEC、先端産業創造プロジェクト、埼玉大学、TKF 設備紹介等)

6.1.2 SAITEC 北部研究所研究・支援成果発表会

当研究所の研究・支援成果を発表した。併せて、食品開発を促進するための情報提供、高付加価値食品開発研究会会員企業の商品開発事例紹介等を行った。

開催日：令和2年11月11日(水)

会場：新都心ビジネス交流プラザ

来場者：44名

内容：SAITEC の研究・支援成果の発表、商品開発事例紹介、講演及び新規おいしさ評価機器の紹介

(1)研究・支援成果発表 3テーマ[内容は3.3.1項を参照]

(2)講演

テーマ 「あなたの会社の認知度とブランド力を高める！地域資源を活かした商品開発の考え方」

Local-Fooddesign 代表 坂本 貴秀 氏

(3)商品開発事例紹介 3テーマ 埼玉ブランド食品開発研究会会員3企業発表

(4)新規おいしさ評価機器の紹介

「味覚センサー」、「ガスクロマトグラフ質量分析装置」、「クレープ試験装置」

6.1.3 研究報告

研究報告 第18巻(令和元年度) 令和2年12月発行(Web上)

6.2 利用促進

6.2.1 業務報告

令和元年度 業務報告 令和2年9月発行(Web上)

6.2.2 インターネットによる技術情報の提供

(1) ウェブページ

当センターのインターネットウェブページで主に以下の内容について情報提供した。

- ・平成15年度～令和元年度研究報告
- ・依頼試験の案内、開放機器の案内、開放機器研修日程
- ・貸会議室、貸研究室
- ・研修会、講演会等開催の案内
- ・他機関の各種支援情報
- ・セミナー、講習会情報
- ・新規導入機器の紹介

(2) メールマガジン

県内中小企業の新技術・新製品の開発を支援するため、当センターに関連する産業情報をメールマガジンにより迅速に発信した。

発行回数：19回(定期発行12回 臨時発行7回)

(3) インターネット技術相談

電子メールによる「インターネット技術相談窓口」には2,176件の問い合わせがあった。

6.2.3 マスメディア報道

(1) 新聞報道

年月日	新聞名	内容
R2.5.29	日本経済新聞	コロナ禍後向け戦略会議
R2.6.8	日刊工業新聞	横顔(センター長インタビュー)
R2.6.29	日刊工業新聞 第2部	県幹部インタビュー
R2.8.19	埼玉新聞	災害時機器無料貸し出し協定
R2.8.19	読売新聞	災害時機器無料貸し出し協定
R2.8.19	日本経済新聞	災害時機器無料貸し出し協定
R2.8.19	東京新聞	災害時機器無料貸し出し協定
R2.8.19	産経新聞	災害時機器無料貸し出し協定
R2.8.19	日刊工業新聞	災害時機器無料貸し出し協定
R2.8.25	毎日新聞	人気膨らむ米粉パン
R2.9.24	日刊産業新聞	日本金属社長インタビュー
R2.11.27	日刊工業新聞 第2部	産業振興懇談会 意見交換

(2) その他雑誌報道

年月日	雑誌名	内容
R2.4	アクセス埼玉 4月号	新規導入機器の案内
R2.7	日本試験機工業会技術広報誌 TEST	埼玉県産業技術総合センターの紹介
R2.8	川口商工会議所会報 むうぶ	ものづくりにデザインの視点を
R2.8	富山産業技術研究センター 技術情報誌 8月号	テクノシンポジウム2020 報告(SAITEC 出展)
R2.9	JRPS FRP コーティング特集	TiコーティングがFRPの物性に与える影響
R2.12	アクセス埼玉 12月号	貸研究室入居者募集、第5回デザイン塾開催案内、デジタルものづくり研究会発足
R2.12	JRPS	溶液含浸法による炭素繊維強化ポリカーボネートの成形および分離・回収方法の検討
R3.1	ポリテクセンター埼玉 受講者募集パンフレット	デジタルものづくり技術科卒業生 担当業務紹介
R3.1	クリーンテクノロジー 1月号	排煙管内清掃装置の開発

7 起業化支援

起業家や新事業分野に進出する中小企業を技術・経営両面から支援するため、研究開発のスペースとして貸研究室22室を設置している。

7.1 入居企業

(1) 貸研究室(令和2年度実績)

No.	入居者名	住所	分野	備考
1	クエスト(株)	川口市	IT	2室利用 R2.10.31 退去 R3.3.29 再入居
2	(株)オブセル	さいたま市	光学機器	R2.11.30 退去
3	(株)IDレーザー	川口市	工業製品	
4	日本ジーンウィズ(株)	川口市	バイオ産業	3室利用
5	(株)ちきたく	川口市	工業製品	R2.4.1 入居 R3.1.22 退去
6	(株)エッジテック	さいたま市	工業製品	
7	(株)JFR	東京都練馬区	工業製品	
8	玉置電子工業(株)	川口市	産業機器	2室利用 R2.7.31 退去
9	(株)サンエー	広島県三次市	工業製品	
10	エルケム・ジャパン(株)	東京都千代田区	工業製品	
11	(株)アニモス	川口市	バイオ産業	
12	KFケミカル(株)	東京都港区	工業製品	3室利用
13	(株)分散材料研究所	戸田市	工業製品	R2.5.15 退去
14	ケイワート・サイエンス(株)	川口市	工業製品	R3.3.17 入居

7.2 支援実績

	支援内容	利用企業数	利用件数
1	センター研究員による技術相談	4企業	7件
2	インキュベーション・マネージャーによる経営相談	10企業	113件
3	依頼試験の利用を通じた技術支援	3企業	4件
4	開放機器の利用を通じた技術支援	5企業	36件
5	試作加工室の提供	7企業	67件
6	各種情報提供(セミナー、助成金、展示会など)	提供件数:52件	

8 人材育成

県内中小企業等の人材を育成するため、研修生の受け入れ等を行った。また、技術競技会における表彰を行った。

8.1 研修生の受け入れ

8.1.1 中小企業等研究者養成研修事業

県内中小企業等の研究者及び技術者の資質の向上を図り、その技術力、研究開発力を強化することを目的として、研修生を受け入れた。

◆本所

期間	機関名	受け入れ人数	日数	担当者
R2.7.27～R3.3.12	芝浦工業大学	1	50	電気・電子技術・戦略プロジェクト担当 半田 隆志
R3.1.12～R3.3.19	東洋大学	1	2	化学技術担当 稲本 将史
本所計		2	52	

◆合計

	受け入れ実績	
本所	2名	52日
北部研究所	0名	0日
合計	2名	52日

8.2 技術講習会、講演会等の開催

県内中小企業等の研究者や技術者に対し、技術講習会、講演会等を開催した。

◆本所(主催事業)

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
R2.9.8	令和2年度 商品企画デザイン塾 特別セミナー	埼玉県産業技術 総合センター	対談《企業×デザイナー》 テーマ「企業×デザイナー プロジェクト チームを作る」 メーカー 彩靱-SAIHO- 河合産業(株) 河合 泉 氏 プロデューサー (株)小鳥来 古庄デザ イン事務所 古庄 良匡 氏 プロダクトデザイナー (株)ALLOY 山崎 勇人 氏 グラフィックデザイナー (株)PORT 大竹 雅俊 氏 ウェブデザイナー (株)PORT 大竹 雄亮 氏	22

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
R2.10.16	令和2年度商品企画デザイン塾	Zoom(オンライン会議システム)	テーマ①「デザイナーの使い方」 TENT:青木亮作氏、治田将之氏 テーマ②「工場の使い方」 twelvetone:角田 崇 氏	19
R2.10.26	令和2年度商品企画デザイン塾	Zoom(オンライン会議システム)	テーマ③「チームビルディング」 (株)小鳥来 古庄デザイン事務所 古庄 良匡 氏 テーマ④「アイデアの探し方(プロダクトデザイン)」 石田和人デザインスタジオ 石田和人 氏	13
R2.11.27	令和2年度商品企画デザイン塾	Zoom(オンライン会議システム)	テーマ⑤「プロジェクトを継続していくために」 MUTE:イトウケンジ 氏 テーマ⑥「グラフィックデザインの役割」 MUTE:ウミノタカヒロ 氏	8
R2.12.8	令和2年度商品企画デザイン塾	埼玉県産業技術総合センター	テーマ⑦「写真の撮り方、意図の大切さ」 阿部 良寛 氏	7
R2.12.15	3次元CAD操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solidworks体験セミナー (株)TEK 長谷山 良典 氏	9
R2.12.16	令和2年度商品企画デザイン塾	Zoom(オンライン会議システム)	テーマ⑧「デザインにまつわる知的財産権の話」 麴町パートナーズ法律事務所 岡 邦俊 氏	6
R2.12.18	第1回デジタルものづくり講演会	埼玉県産業技術総合センター	「3D データ活用によるデジタルものづくりの実現 ～ with コロナで拍車がかかるデジタルものづくりとは ～」 (株)株式会社ファソテック 取締役 ソリューション本部長 椿 進一 氏 ソリューション本部 笹川 貴司 氏 「デジタルものづくり研究会のご紹介」 埼玉県産業技術総合センター 生産技術・事業化支援室 南部 洋平 「形状最適化システムの紹介」 アルテアエンジニアリング(株) 技術部 テクニカルマネージャ 福岡 展行 氏 「金属3Dプリンタの紹介」 (株)ファソテック AM 開発センター部長 小西 健彦 氏	22
R3.3.11	令和2年度商品企画デザイン塾特別セミナー	Zoom(オンライン会議システム)	対談《企業×デザイナー》 「企業のデザインセンスを引き上げる」 企業: (株)ハイキャスト 代表取締役社長 高橋 健太郎 氏 技術課長 牧元 貴史 氏 デザイナー: (株)ファッション 代表取締役 登 豊茂男 氏	27

◆北部研究所(主催事業)

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
R2.6.26	第1回埼玉ブランド食品開発セミナー	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	講演会 ・ブランドを正しく理解して新しい価値を創ろう！ 『新商品開発とブランドづくり in SAITEC』 (株)かたちなきもの 代表取締役 草野 紀親 氏	25
R2.8.28	第2回埼玉ブランド食品開発セミナー	新都心ビジネス交流プラザ	講演会 テーマ1 ・ブランドを正しく理解して新しい価値を創ろう！ 『新商品開発とブランドづくり in SAITEC』 【実践編】 (株)かたちなきもの 代表取締役 草野 紀親 氏 テーマ2 ・「フレイル予防に役立つ栄養摂取と埼玉県民の現状」 埼玉県 保健医療部 健康長寿課 主幹 堀 寛恵 氏	19
R2.11.11	高付加価値食品開発支援セミナー	新都心ビジネス交流プラザ	講演会 ・「あなたの会社の認知度とブランド力を高める！地域資源を活かした商品開発の考え方」 Local-Fooddesign 代表 坂本 貴秀 氏	44
R3.3.19	埼玉ブランド食品開発研究会 成果発表会	Zoom(オンライン会議システム)	講演会 ・「食品市場のトレンドと With・After コロナにおける市場展望」 (株)矢野経済研究所 部長・主任研究員 飯塚 智之 氏	30

◆本所(支援事業)

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
R2.6.1	埼玉県熱処理技術研究会総会	書面表決	・総会(資料送付)	30

注)熱処理技術研究会については、5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)に再掲。

◆北部研究所(支援事業)

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
R2.5.13	新酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	全国新酒鑑評会出品酒 9点 官能評価 個別講評 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 担当部長 横堀 正敏 専門研究員 樋口 誠一 専門研究員 和田 健太郎 技師 齋藤 健太	0 (感染症拡大防止のため、企業からの参加を取り止め)
R2.9.8	清酒研究会	マロウドイン熊谷	出品点数 吟醸酒の部 41点(12場) 純米吟醸酒の部 20点(10場) 純米酒の部 10点(6場) 清酒審査講評 関東信越国税局 辻井 将之 氏 石躍 馨 氏 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 担当部長 横堀 正敏 専門研究員 樋口 誠一 専門研究員 和田 健太郎 技師 齋藤 健太	13
R2.9.25	吟醸酒研究会	埼玉県信用金庫 本店営業部	パネルディスカッション 「吟醸酒造りの要点」 進行 杜氏会長 長谷川 武史 氏 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 横堀 正敏 話題提供(新規導入機器、気候と米) 講師 北部研究所 技師 齋藤 健太	16
R3.3.18	杜氏酒造研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	「吟醸酒の管理と出品について」 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 担当部長 横堀 正敏 「水質分析等」 内藤環境管理(株) 鈴木 竜一 氏	18

8.3 技術競技会

8.3.1 埼玉県鑄造技術コンクール

○第56回埼玉県鑄造技術コンクール

埼玉県鑄造技術コンクールは、鑄物製造技術の更なるレベルアップを目的に埼玉県と川口鑄物工業協同組合が共同して例年開催していたが、新型コロナウイルスの影響で開催を見送った。

○第9回鑄造技術コンクール(軽合金)

川口鑄物工業協同組合と川口鑄物技術センターの主催、埼玉県の後援による軽合金部門(アルミニウム合金)のコンクールが例年開催しているが、新型コロナウイルスの影響で開催を見送った。

8.3.2 令和2酒造年度春季清酒鑑評会

令和3年3月16日に北部研究所で審査会を実施した。出品点数 71点(19場)

県産清酒の酒質の向上と醸造技術の改善を図り、業界の発展のため鑑評会を行う。最も優秀な成績を収めた酒造会社及び杜氏に埼玉県知事賞を、それに準ずる成績を収めた酒造会社及び杜氏に埼玉県産業技術総合センター北部研究所長賞を授与し、その他で一定の基準を満たし優良であった酒造会社及び杜氏を入賞とした。

令和2酒造年度春季清酒鑑評会受賞者(組合員名簿順)

埼玉県知事賞

酒造場名	酒銘	杜氏名
(株)釜屋	力士	松沼 宏顕 氏

埼玉県産業技術総合センター北部研究所長賞

酒造場名	酒銘	杜氏名
北西酒造(株)	文楽	村上 大介 氏

入賞

酒造場名	酒銘	杜氏名
(株)小山本家酒造	金紋世界鷹	二宮 一行 氏
小江戸鏡山酒造(株)	鏡山	山田 真 氏
松岡醸造(株)	帝松	松岡 則夫 氏
(株)藤崎惣兵衛商店	長瀬	穠池 崇 氏
横田酒造(株)	日本橋	横田 耕平 氏
(株)東亜酒造	晴菊	丸山 浩克 氏

8.4 科学技術体験学習の実施

8.4.1 スーパーサイエンスハイスクール事業

◆本所

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された浦和第一女子高等学校と連携し、センター職員が講義する6つのテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日時 令和2年12月15日(火)
- (2) 場所 埼玉県産業技術総合センター
- (3) 人数 32名(浦和第一女子高等学校 1年生)
- (4) 学習内容
 - ① 天然水中のミネラル分の測定
 - ② 鑄物づくり体験学習
 - ③ 大型X線CT装置による非破壊検査体験学習
 - ④ 3Dプリンターのための立体データ作成方法
 - ⑤ 協働ロボットを使う
 - ⑥ センサーをネットワークにつなげてデータを集める

9 その他の事業

9.1 職員研修

職員の技術力向上に資するため、各種研修会に職員を参加させるとともに、職場研修を実施した。

◆本所

講座名	期 間	研修機関	研修者
構造解析セミナー	R2.5.22	(株)リガク	焼田 裕之
リガクWebinarシリーズ2020 セメントセミナー(X線分析編)	R2.6.19	(株)リガク	佐野 勝 荻野 倭子
リガクWebinarシリーズ2020 蛍光X線分析の基礎 その1	R2.6.19	(株)リガク	須川 真希代 稲本 将史 荻野 倭子
リガクWebinarシリーズ2020 Reactor-Xを用いたその場観察-温度と湿度を制御した燃料電池のその場観察	R2.6.19	(株)リガク	稲本 将史
初めての自動測定IconNMR	R2.6.22	ブルカージャパン(株)	坂本 大輔
水素原子の数が少ない分子の構造決定へのアプローチ ~色素への応用例~	R2.6.29	ブルカージャパン(株)	灘野 朋美
リガクWebinarシリーズ2020 蛍光X線法によるハロゲンの分析	R2.7.3	(株)リガク	佐野 勝
マシニングセンタプログラミング技術	R2.7.6~10	ポリテクセンター埼玉	岩崎 翼
材料の誘電率測定基礎	R2.7.10	キーサイトテクノロジー(株)	焼田 裕之
アルテアエンジニアリング(株)主催 公設試のための技術交流セミナー	R2.7.14	アルテアエンジニアリング(株)(オンライン)	南部 洋平 増子 陽一 田中 拓也 都知木 邦裕
アジレント ライブ ウェビナー GC編	R2.7.14	アジレントテクノロジー(株)	熊谷 知哉
アジレント ライブ ウェビナー GC/MS編	R2.7.16	アジレントテクノロジー(株)	熊谷 知哉 伊藤 幸希
定量NMR入門	R2.7.16	ブルカージャパン(株)	坂本 大輔
機械学習概論	R2.7.28	Aidemy	灘野 朋美
ポリウムグラフィックス(株)・VGSTUDIO MAX 3.4新機能説明ウェビナー	R2.7.29	ポリウムグラフィックス(株)(オンライン)	増子 陽一
有機溶剤作業主任者技能講習	R2.8.13	労働安全衛生管理協会	田中 拓也
EPMA定性分析標準コース	R2.8.18~20	日本電子(株)	鳥羽 遼子
線形代数入門	R2.8.20	codexa	灘野 朋美
リガク ウェビナー 蛍光X線分析の基礎 その2	R2.8.21	(株)リガク	荻野 倭子
統計学入門(前編)前半	R2.8.26	codexa	灘野 朋美
拡散現象を捉える(初級編)	R2.8.26	ブルカージャパン(株)	灘野 朋美
計算力学の基礎コース	R2.8.27	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所(オンライン)	横山 雄哉
表面処理入門講座	R2.8.28	表面技術協会	小熊 広之
EDSオンライン技術セミナー2020	R2.9.9	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	鳥羽 遼子
低加速SEM/EDSジョイントセミナー	R2.9.15	JFEテクノロジーリサーチ-オックスフォード・インストゥルメンツ(オンライン)	鳥羽 遼子
表面分析ダイジェストセミナー	R2.9.15	日産アーケ-Bruker(オンライン)	鳥羽 遼子
FT-IR・ラマン オンライン技術セミナー2020【パート3】	R2.9.18	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	灘野 朋美 坂本 大輔
蛍光X線分析の基礎 その3	R2.9.25	(株)リガク	須川 真希代
EPMA・表面分析ユーザーズミーティング	R2.10.12~30	日本電子(株)(オンライン)	常木 裕己 鳥羽 遼子
SEMユーザーズミーティング	R2.10.12~30	日本電子(株)(オンライン)	常木 裕己 鳥羽 遼子

講座名	期 間	研修機関	研修者
イオンビーム試料作成セミナー	R2.10.12～30	日本電子(株)(オンライン)	常木 裕己
腐食理論防食技術	R2.10.21～22	高度ポリテクセンター	清水 宏一
公設試験研究機関職員研修	R2.10.13～16	中小企業大学校	荻野 倭子 小林 達哉
金属材料の理論と実際	R2.10.14	高度ポリテクセンター	小熊 広之
材料解析テクノフォーラム	R2.10.21～23	(株)日立ハイテク(オンライン)	常木 裕己 鳥羽 遼子
第32回高分子学会NMR講座 基礎と応用コース	R2.10.22	公益社団法人 高分子学会	灘野 朋美 坂本 大輔
金属めっき技術の理論と実際	R2.10.27～28	高度ポリテクセンター	篠崎 誠
第37回NMRユーザーズミーティング	R2.10.29	ブルカージャパン(株)	灘野 朋美 坂本 大輔 常見 崇史
Raspberry Piでゼロから学べるIoT講座	R2.10.31～11.1	(株)メーカーズファクトリー	熊谷 知哉
サイエンスで進歩するスポーツ技能	R2.11.9	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	都知木 邦裕
金属組織の解説とトラブル解析技術	R2.11.11～13	高度ポリテクセンター	鶴菌 大
ステンレス・オンライン・セミナー	R2.11.13	ニッケル協会	久野 磨衣子
FT-IR・ラマン オンライン技術セミナー2020	R2.11.17	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	坂本 大輔
技術セミナー(金属材料の腐食の仕組み)	R2.11.19	日刊工業新聞社	小熊 広之
オンラインユーザーセミナー	R2.11.20	CHAM-Japan	鳥羽 遼子
シングルボードコンピュータ活用におけるIoTシステム構築技術	R2.11.26～27	高度ポリテクセンター	関根 俊彰
NIMS WEEK 2020	R2.11.27	(国研)物質・材料研究機構	菊池 和尚
リガク「X線CTイメージングセミナー」	R2.11.27	(株)リガク	菊池 和尚
鉄鋼材料の熱処理技術(一般熱処理編)	R2.12.2～4	高度ポリテクセンター	山川 翔平
NMR講習会(固体中級)	R2.12.3～4	ブルカージャパン(株)	灘野 朋美
マシニングセンタ加工技術	R2.12.8～11	ポリテクセンター埼玉	岩崎 翼
NMR講習会(溶液初・中級)	R2.12.9～11	ブルカージャパン(株)	常見 崇史
LPWAを活用したIoTアプリケーション開発技術(Sigfox編)	R2.12.10～11	高度ポリテクセンター	関根 俊彰
金属めっき技術のトラブル対策	R2.12.15～16	高度ポリテクセンター	久野 磨衣子
工具研削実践技術	R2.12.15～17	ポリテクセンター埼玉	廣島 啓太
クレーン運転のための特別教育	R2.12.18～19	日本クレーン協会	上杉 卓矢
NMRスペクトル解析の糖鎖への応用	R3.1.18	ブルカージャパン(株)	灘野 朋美
玉掛け技能講習	R3.1.28～29、 R3.3.28	日本クレーン協会	上杉 卓矢
技術セミナー(ドライプロセス表面処理)	R3.2.3	日刊工業新聞社	小熊 広之
表面技術協会第143回講演大会	R3.3.4～5	(社)表面技術協会	稲本 将史
生分解性プラスチックの基礎から製品設計まで	R3.3.11	(株)情報機構	山田 岳大
第46回 組織検査用試料の作り方(組織の現出)講習会	R3.3.12	材料技術教育研究会(オンライン)	鶴菌 大
Zoomによるオンラインセミナーの開催方法	R3.3.18	現場イズム	原田 勝利
EPMA分析の留意点 -分析X線の選択について-	R3.3.19	日本電子(株)(オンライン)	鳥羽 遼子

◆北部研究所

講座名	期間	研修機関	研修者
eラーニング研修 専門・ICT基礎コース	R2.7月	J-LIS専門eラーニング研修((株)富士通ラーニングメディア)(オンラインセミナー)	信本 康男
ニコソ・画像測定機操作説明会	R2.7.6	埼玉県産業技術総合センター本所	信本 康男 笠原 章裕
eラーニング研修 専門・ネットワーク基礎コース	R2.8月	J-LIS専門eラーニング研修((株)富士通ラーニングメディア)(オンラインセミナー)	信本 康男
醸造WEB講習 清酒編・麴を学ぶ	R2.9月	(公財)日本醸造協会(オンライン)	樋口 誠一
醸造WEB講習 清酒編・吟醸と吟醸酵母 PartII	R2.9月	(公財)日本醸造協会(オンライン)	樋口 誠一
醸造WEB講習 清酒編・The純米酒 純米大吟醸・純米吟醸	R2.9月	(公財)日本醸造協会(オンライン)	樋口 誠一
J-LIS リモートラーニング((株)ネットラーニング)・情報セキュリティ研修 マイナンバー制度一般コース	R2.9月	J-LIS リモートラーニング((株)ネットラーニング)(オンラインセミナー)	信本 康男
J-LIS リモートラーニング((株)ネットラーニング)・情報セキュリティ研修 サイバーセキュリティコース	R2.9月	J-LIS リモートラーニング((株)ネットラーニング)(オンラインセミナー)	信本 康男
栃木県産業技術センターオープンラボ	R2.9.2	栃木県産業技術センター	仲島 日出男 原田 雅典 成澤 朋之
広聴広報課・広報デザイン研修「初心者向けIllustrator操作研修会」	R2.9.14	マウスステーション大宮校	信本 康男
第44回酒米懇談会	R2.9.15	酒米研究会(オンライン)	齋藤 健太
中小企業大学校「生産性向上のためのIT活用支援」	R2.9.28～30	中小企業大学校 東京校	高橋 勝
J-LIS リモートラーニング((株)ネットラーニング)・情報セキュリティ研修 情報セキュリティコース	R2.10月	J-LIS リモートラーニング((株)ネットラーニング)(オンラインセミナー)	信本 康男
J-LIS リモートラーニング((株)ネットラーニング)・情報セキュリティ研修 個人情報保護コース	R2.10月	J-LIS リモートラーニング((株)ネットラーニング)(オンラインセミナー)	信本 康男
イオンビーム試料作成セミナー	R2.10.12～30	日本電子(株)	秋山 稔 原田 雅典
SEMユーザーズミーティング(オンライン)	R2.10.12～30	日本電子(株)	秋山 稔 原田 雅典
日本醸造学会大会	R2.10.21～22	日本醸造学会(オンライン)	樋口 誠一 和田 健太郎
微生物検査 基礎・判定研修コース	R2.10.22～23	(一財)日本食品検査	原田 雅典
第91回関東信越国税局酒類鑑評会技術研究会	R2.11.5	関東信越国税局	和田 健太郎 齋藤 健太
センサを活用したIoTアプリケーション開発技術	R2.11.5～6	埼玉職業能力開発促進センター(ポリテクセンター埼玉)	信本 康男
第15回味覚センサー活用セミナー	R2.11.19	(株)インテリジェントセンサーテクノロジー(オンライン)	樋口 誠一
鉄鋼材料の熱処理技術(一般熱処理編)	R2.12.2～4	高度ポリテクセンター	山川 翔平
市販酒類調査(オブザーバ参加)	R2.12.14	関東信越国税局	和田 健太郎
埼玉職業能力開発促進センター(ポリテクセンター埼玉)・三次元測定技術	R2.12.15～17	埼玉職業能力開発促進センター(ポリテクセンター埼玉)	信本 康男
広聴広報課 広報デザイン研修「PowerPoint操作研修会(実践編)」	R2.12.22	埼玉県庁 第2庁舎 IT研修室	信本 康男
加速するEVへのシフト	R3.1.21	CASE研究会	高橋 勝

講座名	期間	研修機関	研修者
EDS分析標準セミナー	R3.2.16～17	日本電子(株)	山川 翔平
メンタルヘルスセルフケア研修	R3.2月	職員健康支援課(オンライン)	笠原 章裕 信本 康男
島津製作所・劣化解析・不具合評価	R3.2.25	オンラインセミナー	信本 康男
醸造WEB講習 清酒編・The純米酒ー山 麩純米・生もと純米	R3.3月	(公財)日本醸造協会(オンライン)	樋口 誠一
醸造WEB講習 清酒編・最新 清酒の貯 蔵・出荷管理	R3.3月	(公財)日本醸造協会(オンライン)	樋口 誠一
醸造WEB講習 醤油編・醤油製造技術	R3.3月	(公財)日本醸造協会(オンライン)	樋口 誠一
醸造WEB講習 味噌編・技術編	R3.3月	(公財)日本醸造協会(オンライン)	樋口 誠一
千葉県産業支援技術研究所・金属3Dプ リントセミナー	R3.3月	オンラインセミナー	信本 康男
設備課・(自主研修)先進事例研修	R3.3月	オンライン研修	信本 康男
日本電子(株)&(株)リガク「熱分析、MS分 析の基礎と発生ガス分析の評価技術」	R3.3.2	オンラインセミナー	信本 康男
おいしいパン開発のための製パン理論と 加工技術および品質評価法	R3.3.9	(株)テックデザイン	原田 雅典
食品テクスチャーの制御と適切な計測・評 価手法	R3.3.17	(株)テックデザイン	原田 雅典
ビアテイスターセミナー	R3.3.20	クラフトビア・アソシエーション(日 本地ビール協会)	和田 健太郎
超入門！ワイン造りに必要な分析	R3.3.19	日本ワイナリー協会	樋口 誠一
食品の官能評価の基本と具体的な手法・ 進め方	R3.3.23	(株)テックデザイン	原田 雅典

◆職場研修

名 称	期 日	会 場	参加人数
競争的資金に係る研修会 講師:企画・総務室 巻島秀男	R2.9.29	埼玉県産業技術総合センター	14
競争的資金に係る研修会 講師:企画・総務室 巻島秀男	R2.10.5	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	11

9.2 運営委員会の開催

埼玉県産業技術総合センターの事業・研究業務の効果的な運営を図るため、外部有識者からなる「埼玉県産業技術総合センター運営委員会」を1回開催し、業務内容等を検討した。

9.2.1 開催状況

(1) 令和2年度産業技術総合センター運営委員会

- ① 日時 令和3年3月12日(金)
- ② 場所 埼玉県産業技術総合センター 5階交流サロン(Web会議併用)
- ③ 議題 「SAITECが取り組む中小企業支援について」
- ④ 参加人数
運営委員 6人 埼玉県 9人 計15人

9.2.2 運営委員

石川金属機工(株)	代表取締役社長	(50音順) 石川 義明 氏
ものづくり大学	ものづくり研究情報センター 主幹	岩田 靖人 氏
埼玉大学	副学長	重原 孝臣 氏(委員長)
(株)河村屋	代表取締役社長	染谷 庄一郎 氏
東京電機大学	研究推進社会連携センター センター長	古谷 涼秋 氏
(株)右門	代表取締役	町田 明美 氏
(株)ドリマックス	代表取締役	松本 英司 氏
(国研)産業技術総合研究所	つくばセンター 次長	宗像 鉄雄 氏